

職員アンケート（単純集計）

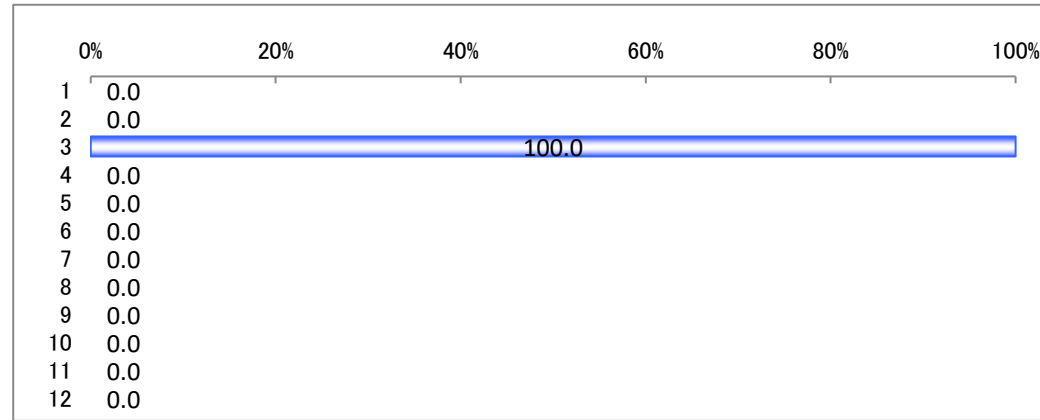
参考資料2-1

設問タイプ	質問番号	設問文	n%表	%表
SA	SC1	あなたのご職業をお答えください。	NP001	P001
SA	SC2	あなたのお勤め・職種を教えてください。	NP002	P002
SA	Q1	現在の役職を教えてください。	NP003	P003
SA	Q2	婚姻状況を教えてください。	NP004	P004
MA	Q3	現在同居しているご家族について教えてください。(いくつでも)	NP005	P005
SA	Q4	「女性活躍」という言葉について、当てはまるものを一つだけ選んでください。	NP006	P006
MA	Q5	「女性活躍」と聞いて、どのような印象をお持ちですか。(いくつでも)	NP007	P007
MT	Q6	■女性の方にお伺いします■仕事と育児の両立とキャリアについて、次のうち、あなた自身の考えに近い方を選んでください。	NP008	P008
SA	Q7S1	Q7-1.■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様についてお答えください。)(1)あなたご自身について、教えてください。	NP009	P009
数	Q7S1-1	Q7-1.■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様についてお答えください。)(1)あなたご自身について、教えてください。／1.取得した 取得(予定)期間: カ月	NP010	P010
SA	Q7S2	Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。	NP011	P011
数	Q7S2-1	Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。／1.取得した(取得予定) 取得(予定)期間: カ月	NP012	P012
SA	Q8S1	Q8-1.■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様についてお答えください。)(1)あなたご自身について、教えてください。	NP013	P013
数	Q8S1-1	Q8-1.■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様についてお答えください。)(1)あなたご自身について、教えてください。／1.利用した(利用予定) 利用(予定)期間: カ月	NP014	P014
SA	Q8S2	Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。	NP015	P015
数	Q8S2-1	Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。／1.利用した(利用予定) 利用(予定)期間: カ月	NP016	P016
MA	Q9	■男性の方にお伺いします■仕事と育児のことについて、次のうち、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。(いくつでも)	NP017	P017
SA	Q10	■小学生以下のお子様、又は介護が必要な御家族がいらっしゃる男性の方にお伺いします■以下の中から、あなたの状況に一番近いものを一つだけ選択してください。	NP018	P018
SA	Q11	あなた自身のキャリアについて、あなたのお考えにもっとも当てはまるものを選択してください。	NP019	P019
MA	Q12	■前問で「昇進したいが、あきらめている」と答えた方にお伺いします■昇進をあきらめるに至った要因は何ですか。(いくつでも)	NP020	P020
SA	Q13	平成29年度に取得した年次有給休暇の日数をお答えください。	NP021	P021
SA	Q14	あなたの繁忙期(最も忙しい時期)における退庁状況にもっとも当てはまるものを選んでください。	NP022	P022
MA	Q15	残業、長時間労働に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)	NP023	P023
MA	Q16	超過勤務時間の縮減に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)	NP024	P024
MT	Q17	あなたの勤務先は、以下の項目について積極的に取り組んでいると思いませんか。それぞれの項目について、取り組みの状況をお答えください。※その他に取り組んでいることがある場合のみ「12.その他」に内容を記入してください。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。	NP025	P025
MA	Q18	■前問で取り組んでいる(選択肢1~4)との回答があった方にお伺いします■勤務先の取組によって、自身のお考え・行動に変化はありましたか。以下の中から当てはまるものを選んでください。(いくつでも)	NP026	P026
SA	Q19	あなたの勤務先では、配属に関する男女の偏り(例えば、特定の部署に男性又は女性が偏っている、だいたい男性のみ又は女性のみが配置されるポストがある、など)があると思いませんか。以下の中から当てはまるものを選択してください。	NP027	P027
SA	Q20	あなたの勤務先の「女性活躍推進法に基づく行動計画」の内容を知っていますか。	NP028	P028
MA	Q21	■前問で「知っている」と答えた方にお伺いします■行動計画の内容はどのように知りましたか。(いくつでも)	NP029	P029
MA	Q22	あなたの勤務先における女性活躍の取組を一層推進するため、勤務先が取り組むべきと考えることは何ですか。(いくつでも)	NP030	P030
MA	Q23	求職活動中、就職先を決める上で判断基準になると思う項目を選択してください。(いくつでも)	NP031	P031
SA	SEG	割付	NP032	P032
SA	SEX	性別	NP033	P033
数	AGE	年齢	NP034	P034
SA	CHIKI	都道府県	NP035	P035
SA	NAGE	年代	NP036	P036
SA	NSEXNAGE	性年代	NP037	P037

■単純集計表(n%表)

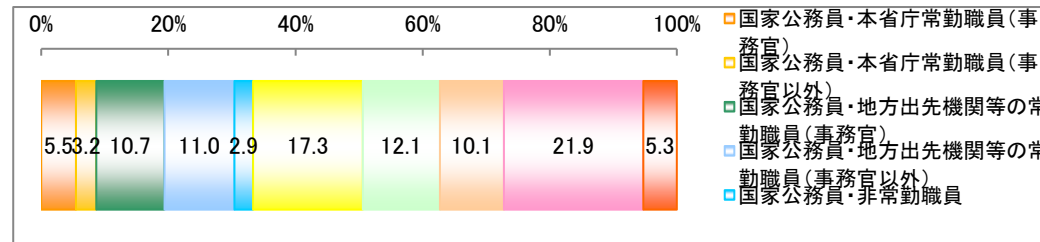
SC1.あなたのご職業をお答えください。

	n	%
全体	1500	100.0
1 自営業	0	0.0
2 会社員・会社役員	0	0.0
3 公務員	1500	100.0
4 団体職員	0	0.0
5 パート・アルバイト(派遣を含む)	0	0.0
6 専業主婦・主夫	0	0.0
7 高校生	0	0.0
8 短大生	0	0.0
9 大学生	0	0.0
10 大学院生	0	0.0
11 無職	0	0.0
12 その他	0	0.0



SC2.あなたのお勤め・職種を教えてください。

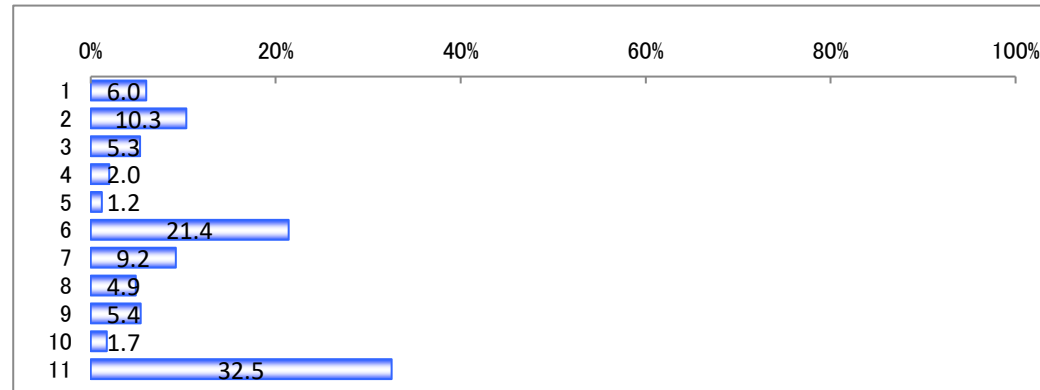
	n	%
全体	1500	100.0
1 国家公務員・本省庁常勤職員(事務官)	82	5.5
2 国家公務員・本省庁常勤職員(事務官以外)	48	3.2
3 国家公務員・地方出先機関等の常勤職員(事務官)	161	10.7
4 国家公務員・地方出先機関等の常勤職員(事務官以外)	165	11.0
5 国家公務員・非常勤職員	44	2.9
6 地方公務員・本庁常勤職員(事務職)	259	17.3
7 地方公務員・本庁常勤職員(事務職以外の専門職)	182	12.1
8 地方公務員・出先機関常勤職員(事務職)	151	10.1
9 地方公務員・出先機関常勤職員(事務職以外の専門職)	329	21.9
10 地方公務員・臨時職員又は非常勤職員	79	5.3



■I まず、あなたご自身のことについてお伺いします。

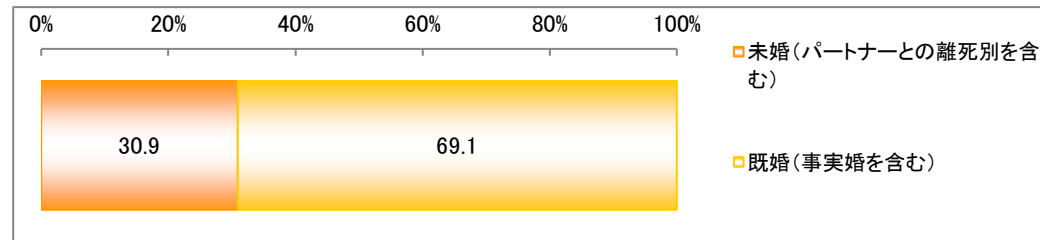
Q1.現在の役職を教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
1 係員・担当	90	6.0
2 係長相当職	155	10.3
3 本省課長補佐相当職	80	5.3
4 本省課室長相当職	30	2.0
5 指定職相当職	18	1.2
6 係員・担当	321	21.4
7 本庁係長相当職	138	9.2
8 本庁課長補佐相当職	73	4.9
9 本庁課長相当職	81	5.4
10 本庁部局長・次長相当職	26	1.7
11 当てはまるものがない	488	32.5



Q2.婚姻状況を教えてください。

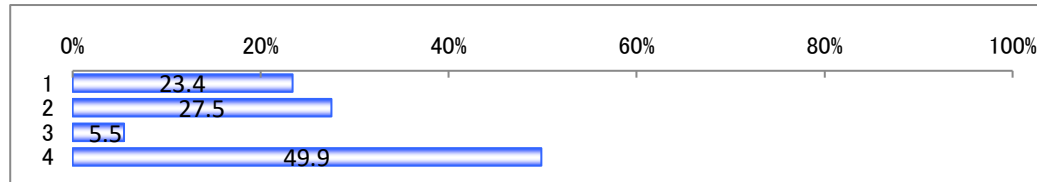
	n	%
全体	1500	100.0
1 未婚(パートナーとの離死別を含む)	464	30.9
2 既婚(事実婚を含む)	1036	69.1



■単純集計表(n%表)

Q3.現在同居しているご家族について教えてください。(いくつでも)

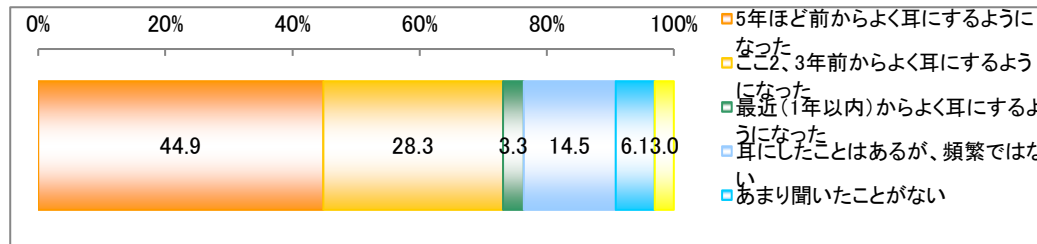
	n	%
全体	1500	100.0
1 小学生以下の子どもがいる	351	23.4
2 中学生以上の子どもがいる	413	27.5
3 介護が必要な家族がいる	82	5.5
4 当てはまるものはない	748	49.9



■II 女性活躍に関する考え方についてお伺いします。

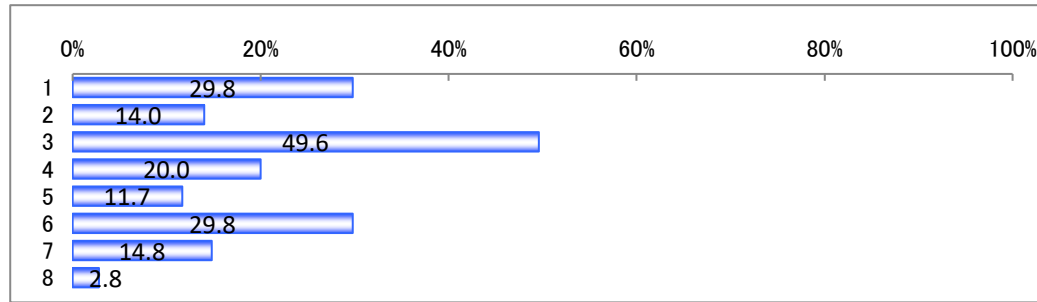
Q4.「女性活躍」という言葉について、当てはまるものを一つだけ選んでください。

	n	%
全体	1500	100.0
1 5年ほど前からよく耳にするようになった	673	44.9
2 ここ2、3年前からよく耳にするようになった	424	28.3
3 最近(1年以内)からよく耳にするようになった	49	3.3
4 耳にしたことはあるが、頻繁ではない	217	14.5
5 あまり聞いたことがない	92	6.1
6 全く聞いたことがない	45	3.0



Q5.「女性活躍」と聞いて、どのような印象をお持ちですか。(いくつでも)

	n	%
全体	1500	100.0
1 女性に対する期待を感じる	447	29.8
2 職場の雰囲気が良くなるように感じる	210	14.0
3 もっと女性が働きやすい社会になるよう取組を進めるべきだと思う	744	49.6
4 女性は十分活躍していると思う	300	20.0
5 専業主婦を否定しているように感じる	175	11.7
6 女性を特別扱いしていると感じる	447	29.8
7 女性に対してプレッシャーがかかるように感じる	222	14.8
8 その他:	42	2.8



Q6. ■女性の方にお伺いします ■仕事と育児の両立とキャリアについて、次のうち、あなた自身の考えに近い方を選んでください。

SA

1.育児休業や短時間勤務はできるだけ短い期間にして、早くフルタイム勤務に戻るほうがよい-育児休業や短時間勤務の期間は(制度の範囲内で)できるだけ長く取るほうがよい(n=500)

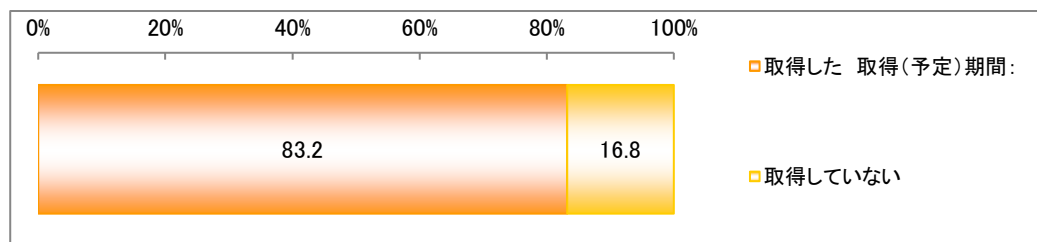


	n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い
1.育児休業や短時間勤務はできるだけ短い期間にして、早くフルタイム勤務に戻るほうがよい-育児休業や短時間勤務の期間は(制度の範囲内で)できるだけ長く取るほうがよい(n=500)	500	43	133	195	129
	100.0	8.6	26.6	39.0	25.8

Q7-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様について)

SA

	n	%
全体	161	100.0
1 取得した 取得(予定)期間:	134	83.2
2 取得していない	27	16.8



■単純集計表(n%表)

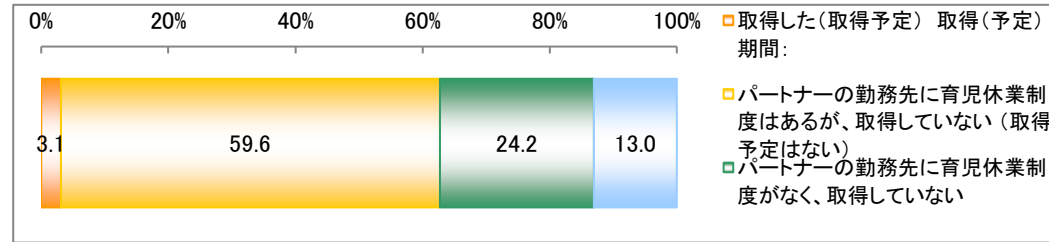
Q7-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様について

	値
全体	134
平均値	16.91
最小値	1.00
最大値	84.00

Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。

SA

	n	%
全体	161	100.0
1 取得した(取得予定) 取得(予定)期間:	5	3.1
2 パートナーの勤務先に育児休業制度はあるが、取得していない(取得予定はない)	96	59.6
3 パートナーの勤務先に育児休業制度がなく、取得していない	39	24.2
4 パートナーの勤務先に育児休業制度があるかどうかわからない	21	13.0



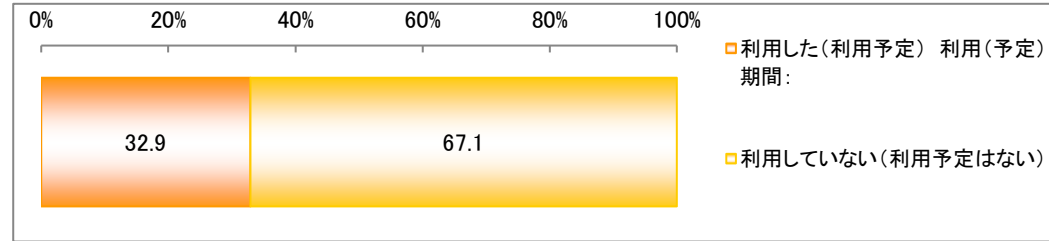
Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。/1.取得した(取得予定) 取得(予定)期間: __ヵ月

	値
全体	5
平均値	1.40
最小値	1.00
最大値	2.00

Q8-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお

SA

	n	%
全体	161	100.0
1 利用した(利用予定) 利用(予定)期間:	53	32.9
2 利用していない(利用予定はない)	108	67.1



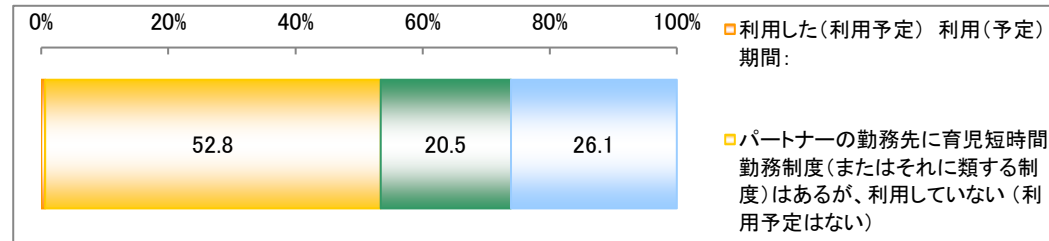
Q8-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお

	値
全体	53
平均値	20.89
最小値	3.00
最大値	72.00

Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。

SA

	n	%
全体	161	100.0
1 利用した(利用予定) 利用(予定)期間:	1	0.6
2 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)はあるが、利用していない(利用予定はない)	85	52.8
3 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)はなく、利用していない	33	20.5
4 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)があるかどうかわからない	42	26.1



Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。/1.利用した(利用予定) 利用(予定)期間: __ヵ月

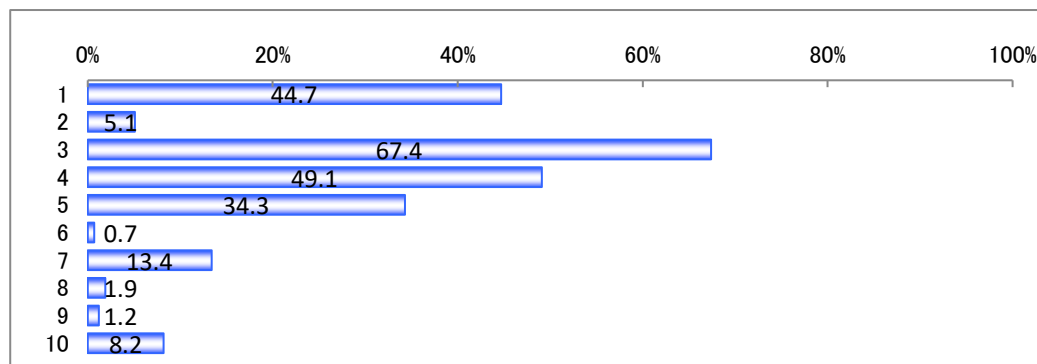
	値
全体	1
平均値	1.00
最小値	1.00
最大値	1.00

■単純集計表(n%表)

Q9. ■男性の方にお伺いします ■仕事と育児のことについて、次のうち、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

MA

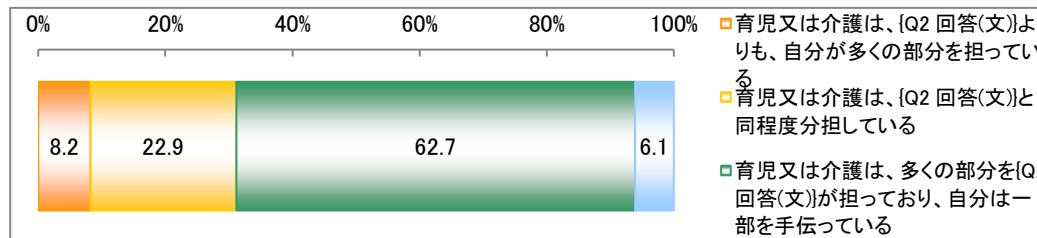
	n	%
全体	1000	100.0
1 仕事は、短い時間で成果を出すことが重要だ	447	44.7
2 仕事は、時間をかけただけ良いものになる	51	5.1
3 ワーク・ライフ・バランスは良い仕事をするためにも必要だ	674	67.4
4 男性も積極的に育児をするべきだ	491	49.1
5 パートナーもやりがいを持って働く家庭に魅力を感じる	343	34.3
6 男性は育児に参画する必要はない	7	0.7
7 職場等で、子育て中の男性のネットワークがあるとよい	134	13.4
8 父親が保育園や幼稚園に子どもを送迎することに違和感がある	19	1.9
9 男性は育児をパートナーに任せて仕事に専念すべきだ	12	1.2
10 この中に当てはまるものはない	82	8.2



Q10. ■小学生以下のお子様、又は介護が必要な御家族がいらっしゃる男性の方にお伺いします ■以下の中から、あなたの状況に一番近いもの一つだけ選択してください。

SA

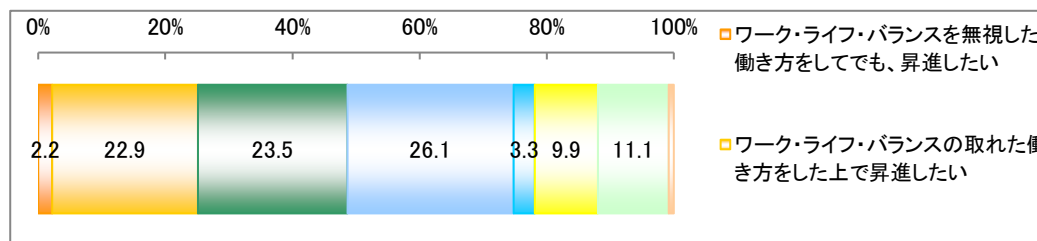
	n	%
全体	279	100.0
1 育児又は介護は、(Q2 回答(文))よりも、自分が多くの部分を担っている	23	8.2
2 育児又は介護は、(Q2 回答(文))と同程度分担している	64	22.9
3 育児又は介護は、多くの部分を(Q2 回答(文))が担っており、自分は一部	175	62.7
4 育児又は介護には一切参画していない	17	6.1



Q11. あなた自身のキャリアについて、あなたのお考えにもっとも当てはまるものを選択してください。

SA

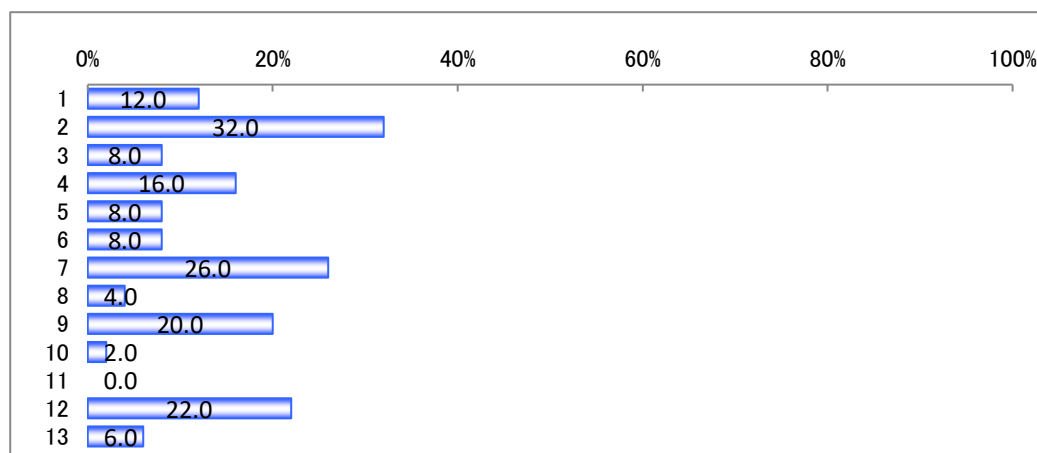
	n	%
全体	1500	100.0
1 ワーク・ライフ・バランスを無視した働き方をしてでも、昇進したい	33	2.2
2 ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方をした上で昇進したい	344	22.9
3 「昇進したい・したくない」どちらともいえないが、ワーク・ライフ・バランスを重視したい	353	23.5
4 仕事上与えられた役割をきちんと果たしていった結果として、昇進の機会を得たい	392	26.1
5 昇進したいが、あきらめている	50	3.3
6 能力と責任が求められるため、昇進したくない	149	9.9
7 家庭生活を重視したいため、昇進したくない	167	11.1
8 その他:	12	0.8



Q12. ■前問で「昇進したいが、あきらめている」と答えた方にお伺いします ■昇進をあきらめるに至った要因は何ですか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	50	100.0
1 ワーク・ライフ・バランスに対する支援体制が十分に整備されていない職	6	12.0
2 自分の仕事に対する評価が低いと感じる	16	32.0
3 育児・介護等への配慮・理解のなく両立が難しい職場環境・風土(子ども	4	8.0
4 長時間の超過勤務を前提とした業務量、働き方、評価	8	16.0
5 職場に、自分のキャリアの参考となる管理職(性別問わず)がいない	4	8.0
6 育児中、介護中などの家庭生活の事情によって、重要度の高い仕事を	4	8.0
7 今の職場に将来性を感じない	13	26.0
8 職場に、育児や介護等と仕事を両立させている管理職(性別問わず)が	2	4.0
9 自身または家族の健康問題	10	20.0
10 育児や介護をパートナーと分担することができず、自分が家庭のことを	1	2.0
11 パートナーや家族が働くことに反対している	0	0.0
12 昇進後の業務を担うことができるか自信がない	11	22.0
13 その他:	3	6.0

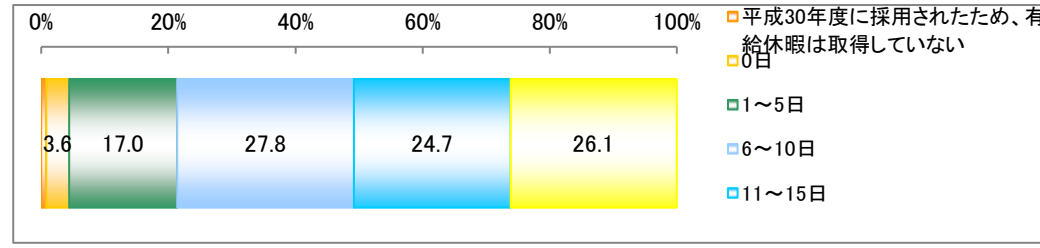


■単純集計表(n%表)

Q13.平成29年度に取得した年次有給休暇の日数をお答えください。

SA

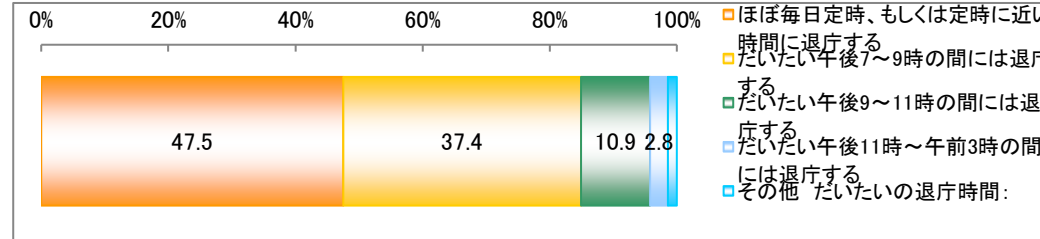
	n	%
全体	1500	100.0
1 平成30年度に採用されたため、有給休暇は取得していない	12	0.8
2 0日	54	3.6
3 1～5日	255	17.0
4 6～10日	417	27.8
5 11～15日	370	24.7
6 16日以上	392	26.1



Q14.あなたの繁忙期(最も忙しい時期)における退庁状況にもっとも当てはまるものを一つ選んでください。

SA

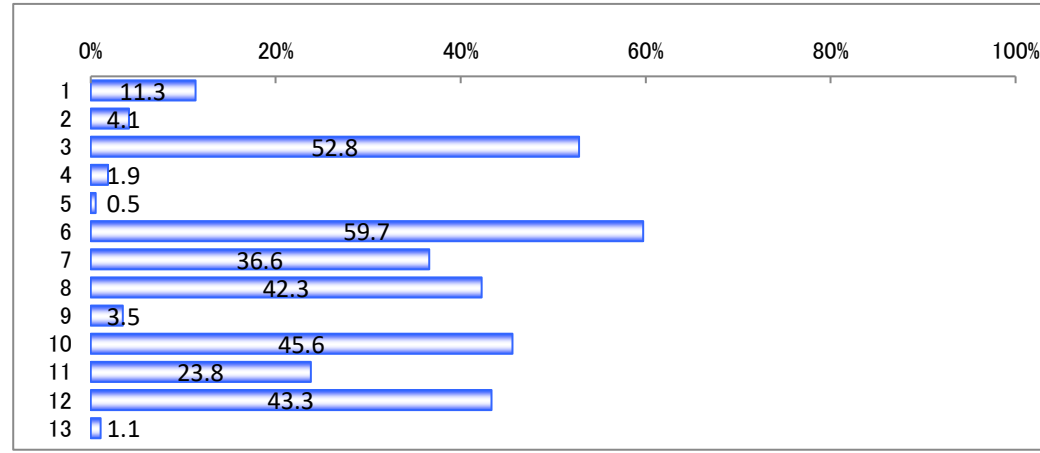
	n	%
全体	1500	100.0
1 ほぼ毎日定時、もしくは定時に近い時間に退庁する	713	47.5
2 だいたい午後7～9時の間には退庁する	561	37.4
3 だいたい午後9～11時の間には退庁する	163	10.9
4 だいたい午後11時～午前3時の間には退庁する	42	2.8
5 その他 だいたいの退庁時間:	21	1.4



Q15.残業、長時間労働に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

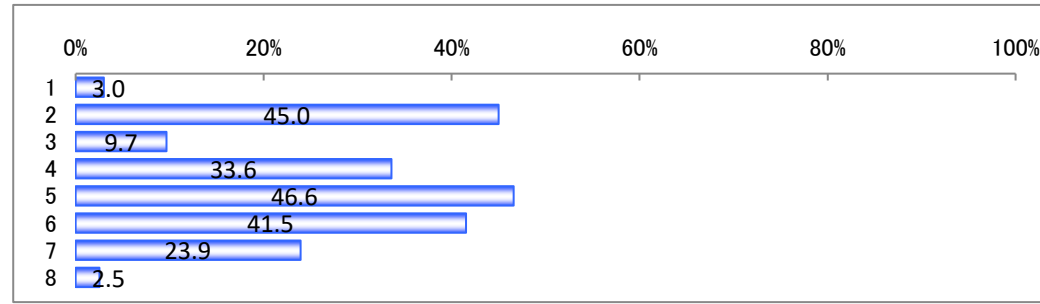
	n	%
全体	1500	100.0
1 より良い仕事のためには、残業する必要がある	170	11.3
2 残業をしても仕事を仕上げることで、人事評価が高くなると思う	62	4.1
3 業務が終わらない以上、残業する必要がある	792	52.8
4 残業しなければならない仕事を任されているというモチベーションアップにつながる	28	1.9
5 長時間労働をしていることは、他人に自慢できることだ	8	0.5
6 残業する日があってもある程度は仕方がないが、常に残業を前提とした業務は問題である	896	59.7
7 常に残業している人としていない人の偏りがあることは問題である	549	36.6
8 長時間労働は、職場・職員にとってマイナスの影響の方が大きい	634	42.3
9 どのような理由があっても、残業は必要ない	52	3.5
10 長時間労働が常態化している職場では働きたくない	684	45.6
11 残業しなければならないというだけでモチベーションが下がる	357	23.8
12 長時間労働をしたことを自慢している人を見ると違和感がある	650	43.3
13 その他:	16	1.1



Q16.超過勤務時間の縮減に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

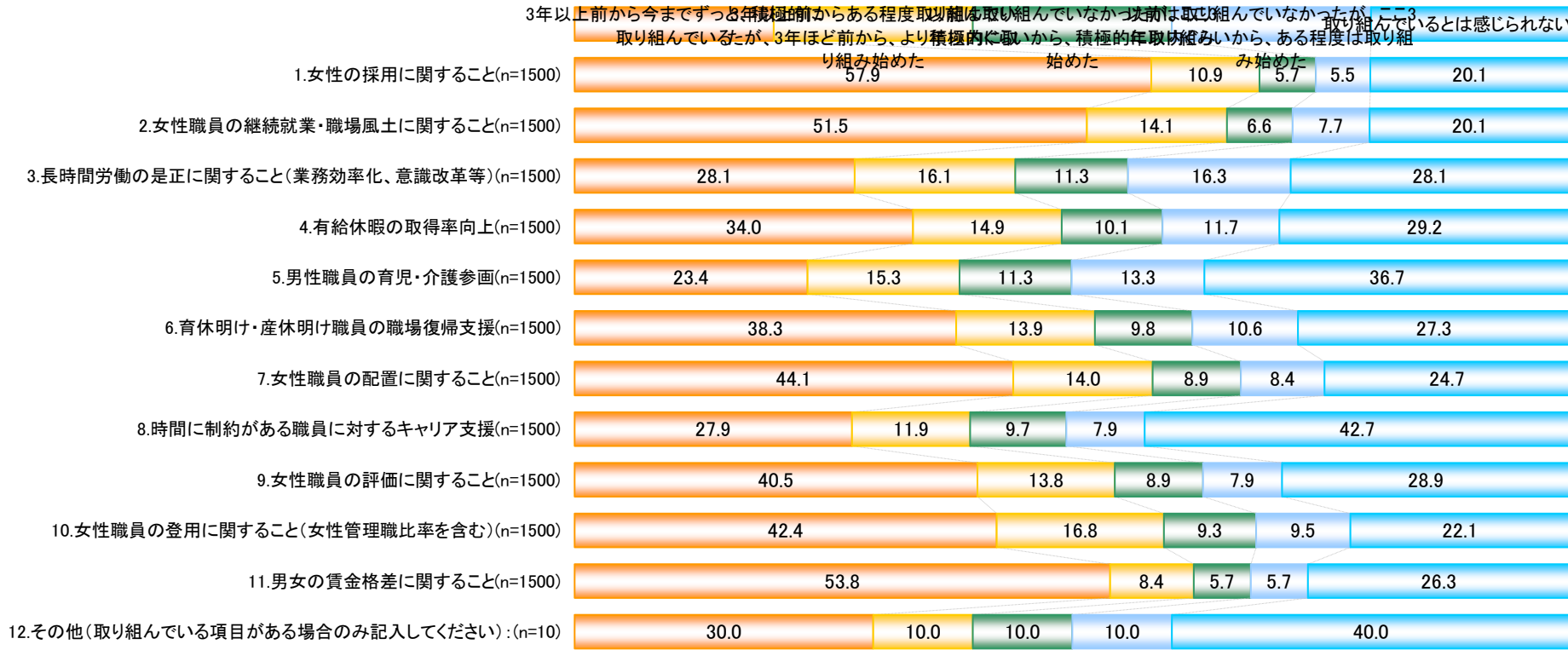
	n	%
全体	1500	100.0
1 超過勤務は必要なものであり、縮減する必要はない	45	3.0
2 超過勤務はなるべく減らすべきだが、強制的に縮減する必要はない	675	45.0
3 超過勤務は必要なく、強制的にでも0にするべきだ	145	9.7
4 雇用者側が、インターバル制度やフレックス制度等を整備して、職員の負担を減らすことが重要だ	504	33.6
5 管理職が、超過勤務時間が最小限になるようマネジメント(担当間の業務配分)を行うことが重要だ	699	46.6
6 個人が、働き方を見直し、生産性の向上に向けた工夫をすることが重要だ	623	41.5
7 縮減の取組として、ある程度の強制力を持って帰宅を促すことが必要だ	359	23.9
8 その他:	38	2.5



■単純集計表(n%表)

■Ⅲ 女性活躍に関する職場の状況等についてお伺いします。

Q17.あなたの勤務先は、以下の項目について積極的に取り組んでいると思いますか。それぞれの項目について、取り組みの状況をお答えください。※その他に取り組んでいることがある場合のみ「12.その他」に内容を記入してください。※この設問は、それぞれ横SA



	n	3年以上前から今までもずっと、積極的に	3年前から、より積極的に取り組んでいる	1年前から、積極的に取り組んでいる	1年未満から、積極的に取り組んでいる	取り組んでいるとは感じられない
1.女性の採用に関すること	1500	869	163	85	82	301
	100.0	57.9	10.9	5.7	5.5	20.1
2.女性職員の継続就業・職場風土に関すること	1500	772	211	99	116	302
	100.0	51.5	14.1	6.6	7.7	20.1
3.長時間労働の是正に関すること(業務効率化、意識改革等)	1500	422	242	170	245	421
	100.0	28.1	16.1	11.3	16.3	28.1
4.有給休暇の取得率向上	1500	510	224	152	176	438
	100.0	34.0	14.9	10.1	11.7	29.2
5.男性職員の育児・介護参画	1500	351	229	169	200	551
	100.0	23.4	15.3	11.3	13.3	36.7
6.育休明け・産休明け職員の職場復帰支援	1500	575	209	147	159	410
	100.0	38.3	13.9	9.8	10.6	27.3
7.女性職員の配置に関すること	1500	661	210	133	126	370
	100.0	44.1	14.0	8.9	8.4	24.7
8.時間に制約がある職員に対するキャリア支援	1500	418	178	145	118	641
	100.0	27.9	11.9	9.7	7.9	42.7
9.女性職員の評価に関すること	1500	607	207	133	119	434

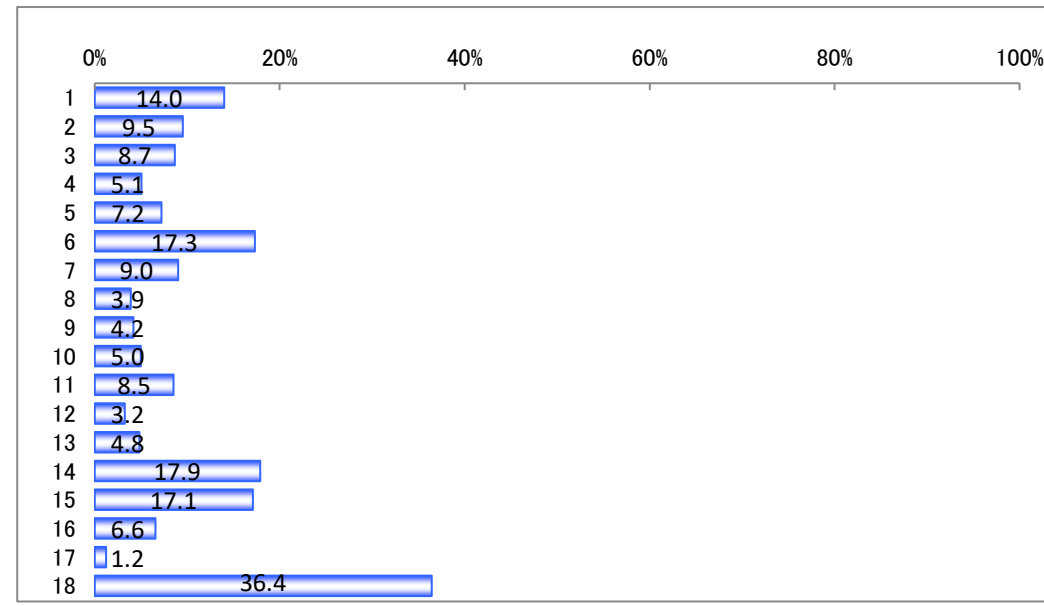
■単純集計表(n%表)

	100.0	40.5	13.8	8.9	7.9	28.9
10.女性職員の登用に関すること(女性管理職比率を含む)	1500	636	252	139	142	331
	100.0	42.4	16.8	9.3	9.5	22.1
11.男女の賃金格差に関すること	1500	807	126	86	86	395
	100.0	53.8	8.4	5.7	5.7	26.3
12.その他(取り組んでいる項目がある場合のみ記入してください):	10	3	1	1	1	4
	100.0	30.0	10.0	10.0	10.0	40.0

■単純集計表(n%表)

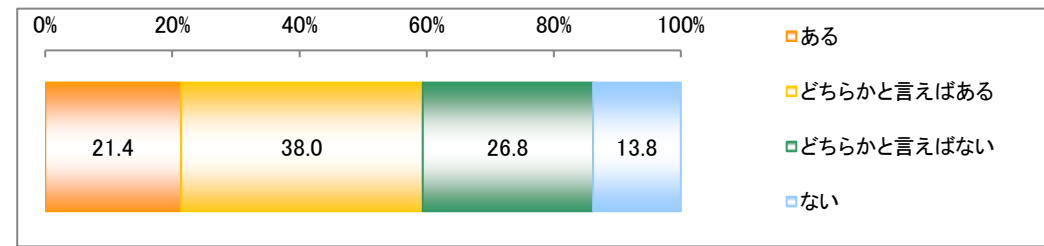
Q18. ■前問で取り組んでいる（選択肢1～4）との回答があった方にお伺いします ■勤務先の取組によって、自身のお考え・行動に変化はありましたか。以下の中から当てはまるものを選んでください。（いくつでも）
MA

	n	%
全体	1386	100.0
1 同じ勤務先で就業継続したいという意識が強まった	194	14.0
2 仕事にやりがいを感じるようになった	132	9.5
3 モチベーションが向上した	120	8.7
4 新しいことにチャレンジしてみようと思うようになった	70	5.1
5 仕事に対するプレッシャーを感じるようになった	100	7.2
6 家庭生活との両立をポジティブに考えるようになった	240	17.3
7 時間制約のある職員との間の不公平さをより感じた	125	9.0
8 職員同士がコミュニケーションをとる時間が増えた	54	3.9
9 パートナーの働き方に対する理解が深まった	58	4.2
10 育児、介護、家事をパートナーと分担して行うようになった	69	5.0
11 仕事以外の時間が充実したことで仕事にも良い影響があった	118	8.5
12 自分の持っている能力を十分に発揮できるようになった	45	3.2
13 パートナーを労わる意識が芽生えた	67	4.8
14 仕事の進め方を効率的にする意識・行動につながった	248	17.9
15 働きやすい職場環境の構築を意識するようになった	237	17.1
16 気楽に働けなくなった	91	6.6
17 その他:	17	1.2
18 変化はない	505	36.4



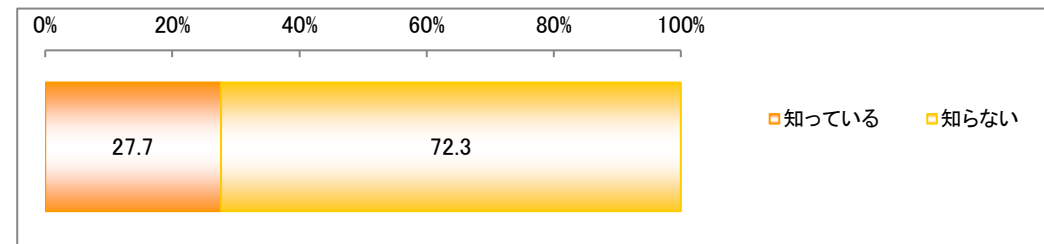
Q19. あなたの勤務先では、配属に関する男女の偏り（例えば、特定の部署に男性又は女性が偏っている、だいたい男性のみ又は女性のみが配置されるポストがある、など）があると思いますか。以下の中から当てはまるものを選択してください。
SA

	n	%
全体	1500	100.0
1 ある	321	21.4
2 どちらかと言えばある	570	38.0
3 どちらかと言えばない	402	26.8
4 ない	207	13.8



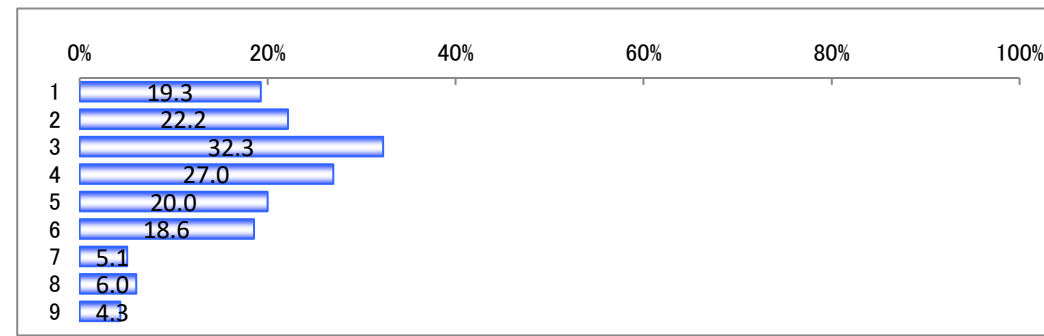
Q20. あなたの勤務先の「女性活躍推進法に基づく行動計画」の内容を知っていますか。
SA

	n	%
全体	1500	100.0
1 知っている	415	27.7
2 知らない	1085	72.3



Q21. ■前問で「知っている」と答えた方にお伺いします ■行動計画の内容はどのように知りましたか。（いくつでも）
MA

	n	%
全体	415	100.0
1 行動計画の策定について、人事担当からのメールを受け取った	80	19.3
2 行動計画に基づく取組について、人事担当からのメールを受け取った	92	22.2
3 e-ラーニング、研修等で知った	134	32.3
4 職場の掲示板上に掲載されていたものを閲覧した	112	27.0
5 職場のホームページに掲載されていたものを閲覧した	83	20.0
6 広報誌に掲載されていたものを閲覧した	77	18.6
7 行動計画の改善点等についての意見募集で知った	21	5.1
8 人事担当が実施したアンケート調査により知った	25	6.0
9 その他:	18	4.3

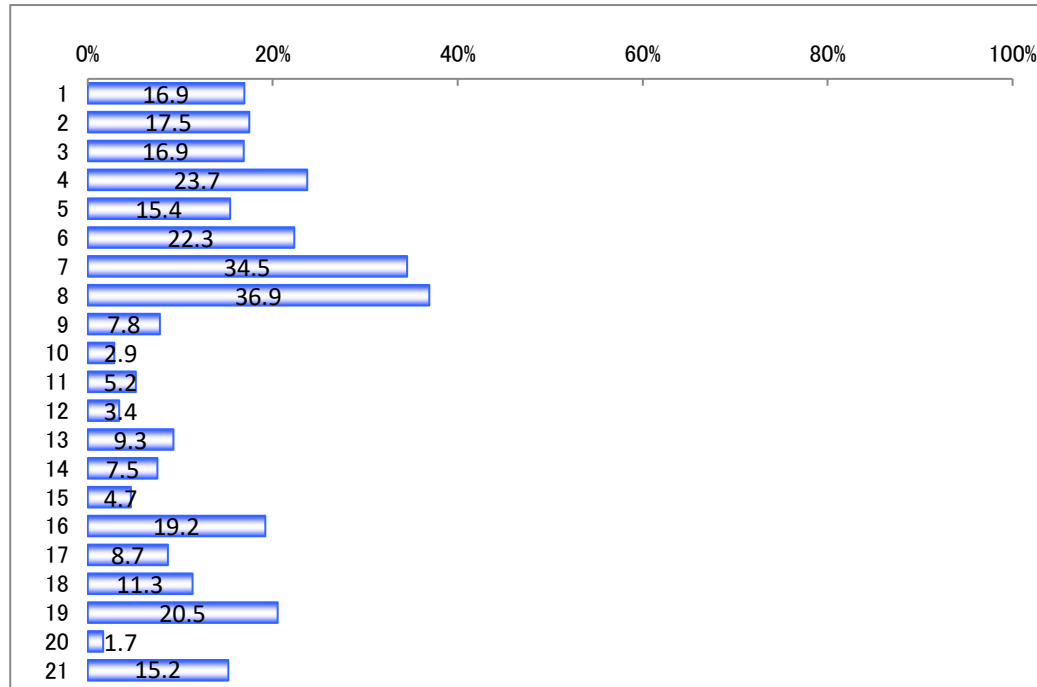


■単純集計表(n%表)

Q22.あなたの勤務先における女性活躍の取組を一層推進するため、勤務先が取り組むべきと考えることは何ですか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	1500	100.0
1 組織トップから職員に対する、女性活躍に対する考え方・方針の説明	254	16.9
2 管理職から職員に対する、女性活躍に対する考え方や取組内容の説明	262	17.5
3 女性活躍の必要性について職員の理解を深めること(外部有識者から聴	253	16.9
4 女性職員の仕事に対する意欲の向上	356	23.7
5 女性職員の昇進意欲を上げること	231	15.4
6 男性職員の家事・育児への参加意欲を上げること	335	22.3
7 超過勤務時間の縮減	518	34.5
8 性別にとらわれない職務の機会付与	554	36.9
9 職場の女性活躍状況(女性採用・登用率、超過勤務の状況等)を「見え	117	7.8
10 他の職場と自身の職場の女性活躍状況(女性採用・登用率、超過勤務の	43	2.9
11 女性活躍を推進するための部署の設置	78	5.2
12 女性活躍を担当する担当者の熱意(実行力)の向上を図ること	51	3.4
13 ある程度の強制力を持った取組	139	9.3
14 第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	113	7.5
15 効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム(マニユア	70	4.7
16 柔軟な働き方に関する制度(テレワーク、フレックスタイム制度等)の更な	288	19.2
17 トップダウンで行う大幅な業務効率化	130	8.7
18 職場のペーパーレス化	170	11.3
19 職員一人一人の生産性を高める意識の向上を図ること	308	20.5
20 その他:	25	1.7
21 特になし	228	15.2

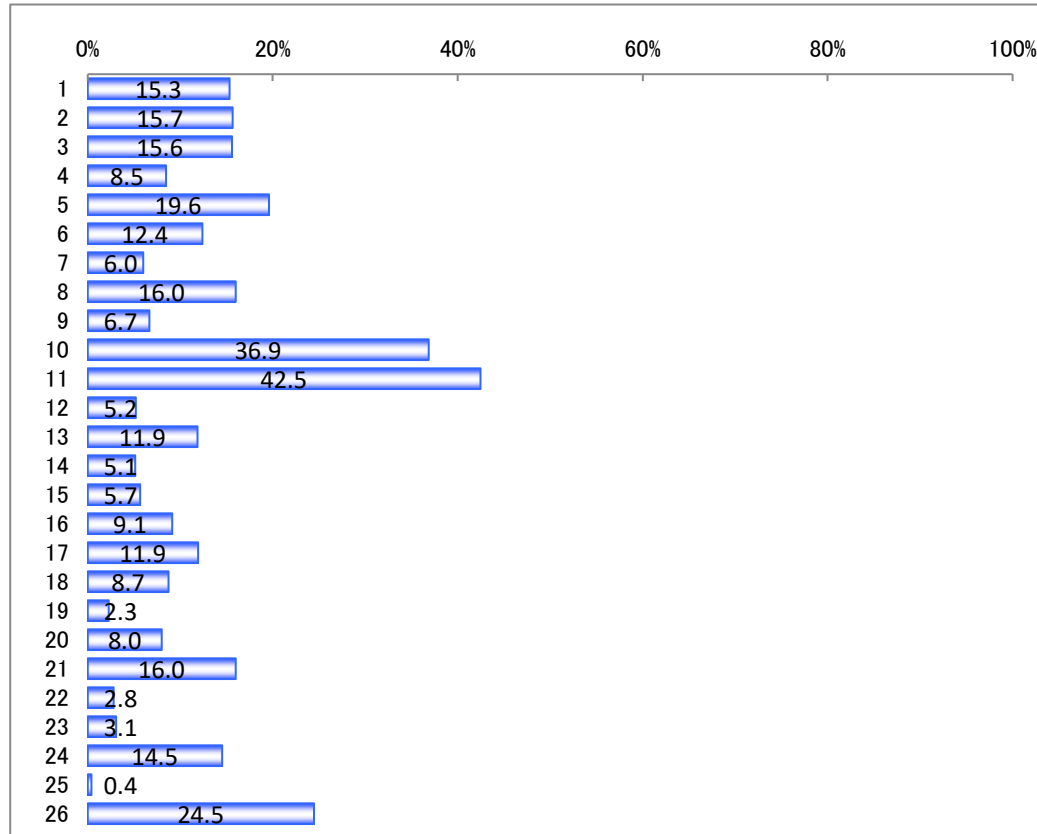


■IV 採用のことについてお伺いします。

Q23.求職活動中、就職先を決める上で判断基準になると思う項目を選択してください。(いくつでも)

MA

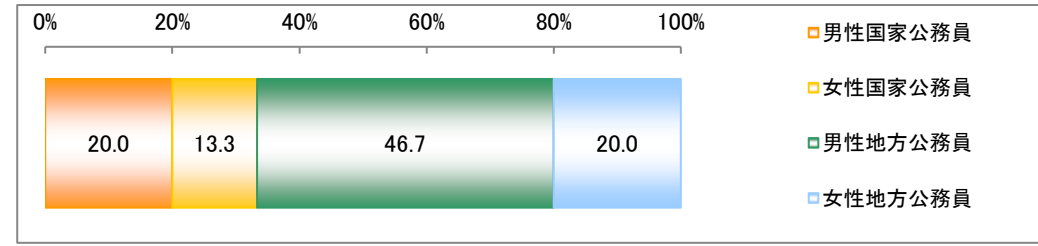
	n	%
全体	1500	100.0
1 女性職員の採用割合	230	15.3
2 継続勤務年数(又は離職率)の男女差	235	15.7
3 管理職の女性割合	234	15.6
4 各役職段階の職員の女性割合	127	8.5
5 男女別育児休業取得率・平均取得期間	294	19.6
6 男性の配偶者出産休暇等取得率・平均取得期間	186	12.4
7 採用試験受験者の総数に占める女性の割合	90	6.0
8 職員に占める女性職員の割合	240	16.0
9 約10年度前に採用した職員の男女別継続任用割合	100	6.7
10 超過勤務状況	553	36.9
11 年次休暇等の取得率	637	42.5
12 中途採用の男女別の実績	78	5.2
13 男女別の配置(配属)の状況	178	11.9
14 将来の人材育成を目的とした教育訓練の男女別の受講状況	77	5.1
15 管理的地位にある職員及び男女の職員の配置、育成、評価、昇任及び	85	5.7
16 職業生活と家庭生活との両立を支援する制度の男女利用実績(育児休	137	9.1
17 在宅勤務、テレワーク、フレックスタイム制度等の柔軟な働き方に資する	179	11.9
18 管理的地位にある職員の超過勤務状況	131	8.7
19 各役職段階から一つ上の役職段階に昇任した職員の男女別の割合	34	2.3
20 人事評価の結果における男女の差異	120	8.0
21 セクハラ相談窓口など、ハラスメント対策の内容	240	16.0
22 中途採用者を管理的地位にある職員に任用した男女別の実績	42	2.8
23 臨時・非常勤職員の研修の男女別の受講の状況	46	3.1
24 男女の給与の差異	218	14.5
25 その他:	6	0.4
26 特になし	367	24.5



■単純集計表(n%表)

割付
SA

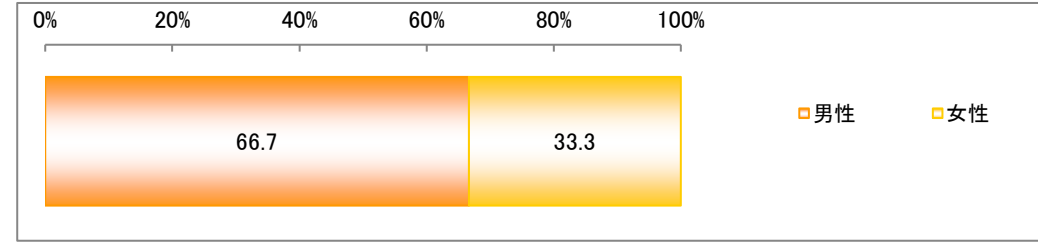
	n	%
全体	1500	100.0
1 男性国家公務員	300	20.0
2 女性国家公務員	200	13.3
3 男性地方公務員	700	46.7
4 女性地方公務員	300	20.0



性別

SA

	n	%
全体	1500	100.0
1 男性	1000	66.7
2 女性	500	33.3



年齢

歳

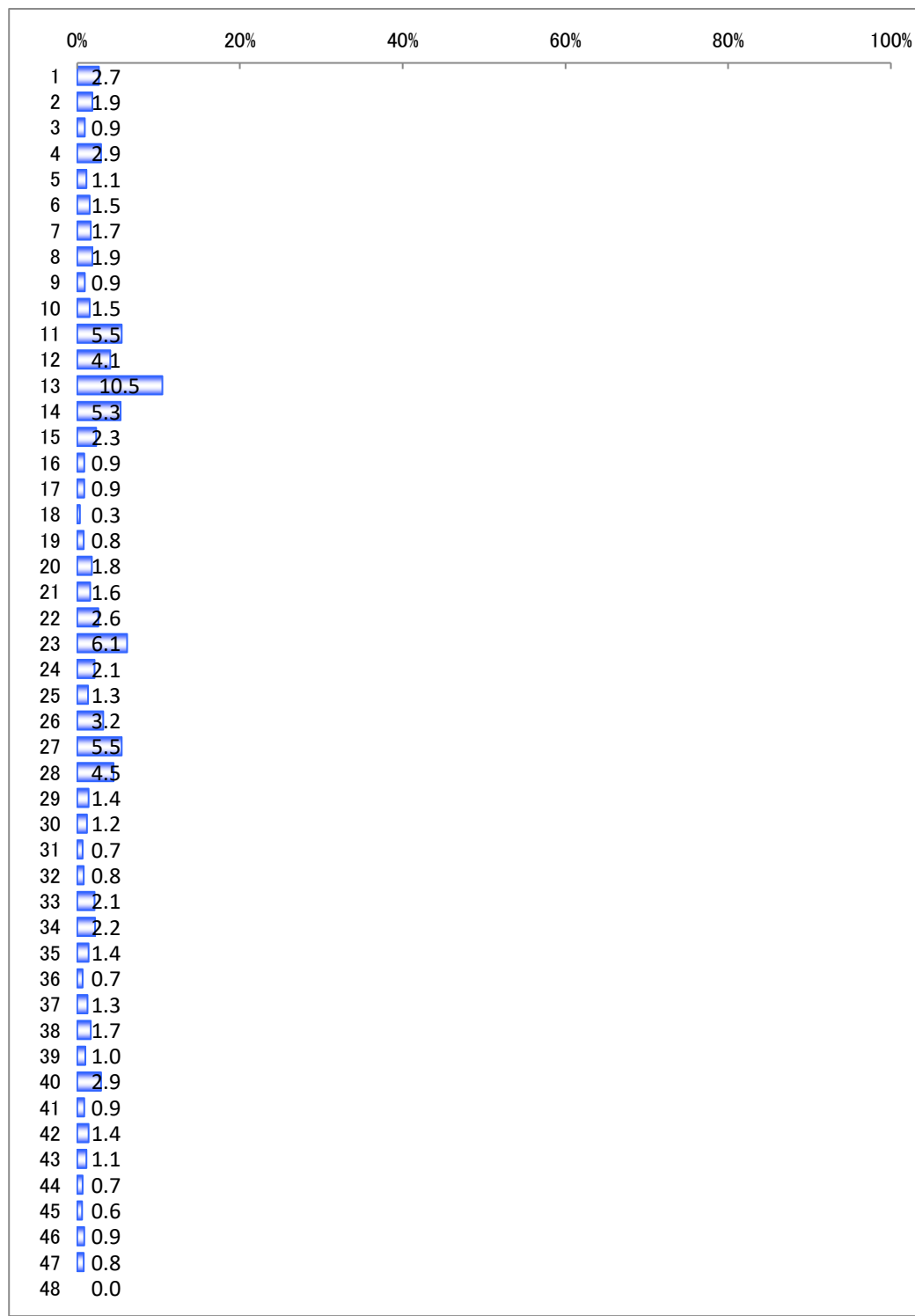
	値
全体	1500
平均値	45.59
最小値	22.00
最大値	60.00

■単純集計表(n%表)

都道府県

SA

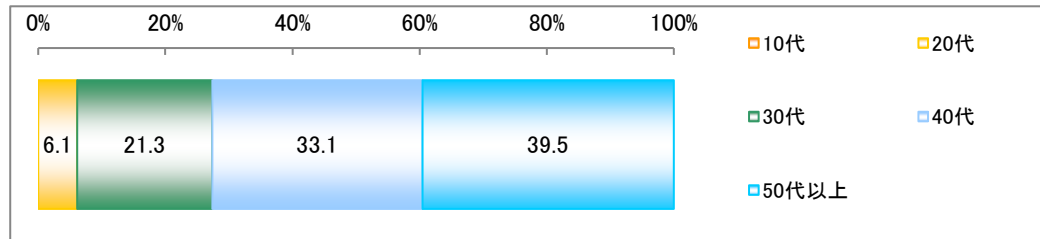
	n	%
全体	1500	100.0
1 北海道	40	2.7
2 青森県	28	1.9
3 岩手県	14	0.9
4 宮城県	44	2.9
5 秋田県	17	1.1
6 山形県	23	1.5
7 福島県	25	1.7
8 茨城県	28	1.9
9 栃木県	14	0.9
10 群馬県	23	1.5
11 埼玉県	82	5.5
12 千葉県	61	4.1
13 東京都	157	10.5
14 神奈川県	80	5.3
15 新潟県	35	2.3
16 富山県	13	0.9
17 石川県	13	0.9
18 福井県	5	0.3
19 山梨県	12	0.8
20 長野県	27	1.8
21 岐阜県	24	1.6
22 静岡県	39	2.6
23 愛知県	92	6.1
24 三重県	32	2.1
25 滋賀県	20	1.3
26 京都府	48	3.2
27 大阪府	82	5.5
28 兵庫県	67	4.5
29 奈良県	21	1.4
30 和歌山県	18	1.2
31 鳥取県	10	0.7
32 島根県	12	0.8
33 岡山県	32	2.1
34 広島県	33	2.2
35 山口県	21	1.4
36 徳島県	10	0.7
37 香川県	19	1.3
38 愛媛県	25	1.7
39 高知県	15	1.0
40 福岡県	44	2.9
41 佐賀県	13	0.9
42 長崎県	21	1.4
43 熊本県	17	1.1
44 大分県	10	0.7
45 宮崎県	9	0.6
46 鹿児島県	13	0.9
47 沖縄県	12	0.8
48 海外	0	0.0



年代

SA

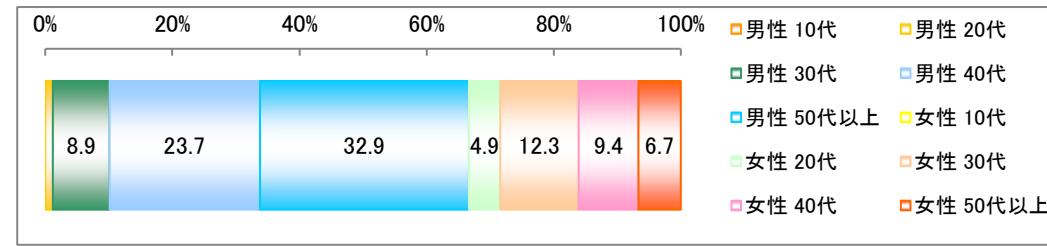
	n	%
全体	1500	100.0
1 10代	0	0.0
2 20代	92	6.1
3 30代	319	21.3
4 40代	496	33.1
5 50代以上	593	39.5



■単純集計表(n%表)

性年代
SA

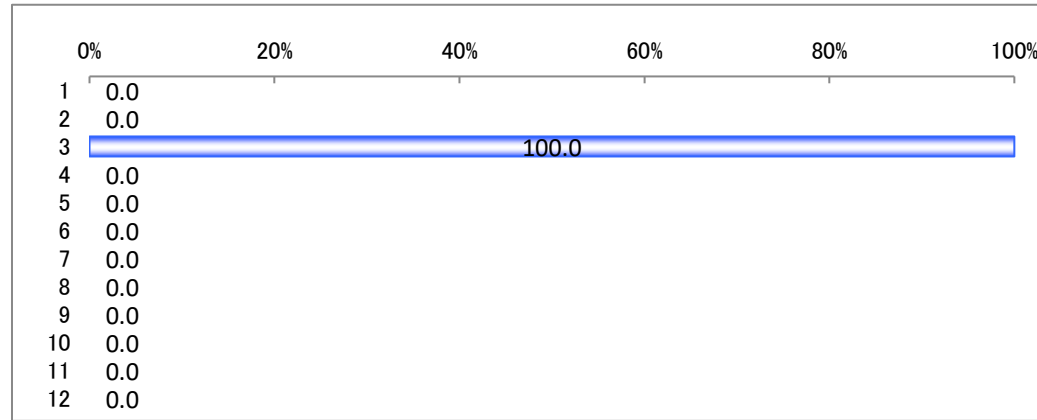
	n	%
全体	1500	100.0
1 男性 10代	0	0.0
2 男性 20代	18	1.2
3 男性 30代	134	8.9
4 男性 40代	355	23.7
5 男性 50代以上	493	32.9
6 女性 10代	0	0.0
7 女性 20代	74	4.9
8 女性 30代	185	12.3
9 女性 40代	141	9.4
10 女性 50代以上	100	6.7



■単純集計表(%表)

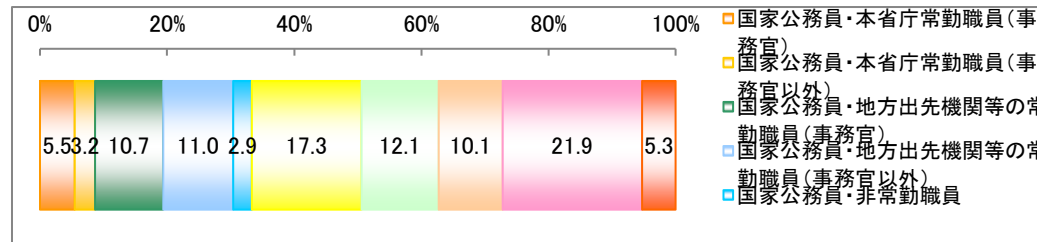
SC1.あなたのご職業をお答えください。

	%
全体	1500
1 自営業	0.0
2 会社員・会社役員	0.0
3 公務員	100.0
4 団体職員	0.0
5 パート・アルバイト(派遣を含む)	0.0
6 専業主婦・主夫	0.0
7 高校生	0.0
8 短大生	0.0
9 大学生	0.0
10 大学院生	0.0
11 無職	0.0
12 その他	0.0



SC2.あなたのお勤め・職種を教えてください。

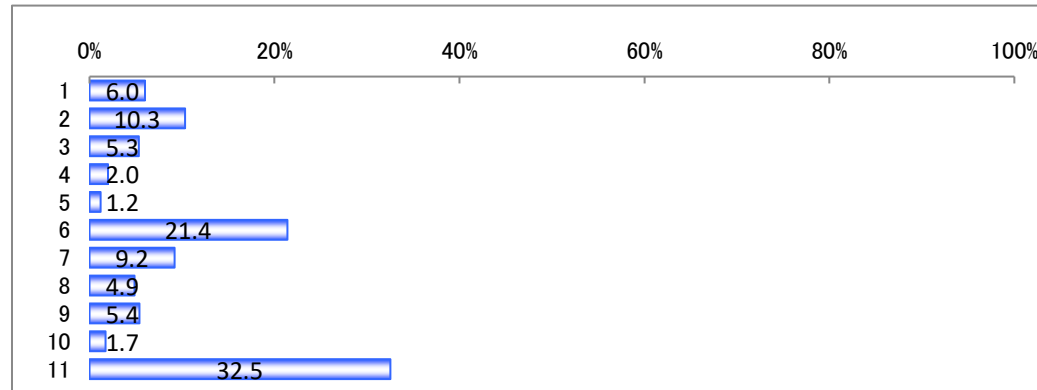
	%
全体	1500
1 国家公務員・本省庁常勤職員(事務官)	5.5
2 国家公務員・本省庁常勤職員(事務官以外)	3.2
3 国家公務員・地方出先機関等の常勤職員(事務官)	10.7
4 国家公務員・地方出先機関等の常勤職員(事務官以外)	11.0
5 国家公務員・非常勤職員	2.9
6 地方公務員・本庁常勤職員(事務職)	17.3
7 地方公務員・本庁常勤職員(事務職以外の専門職)	12.1
8 地方公務員・出先機関常勤職員(事務職)	10.1
9 地方公務員・出先機関常勤職員(事務職以外の専門職)	21.9
10 地方公務員・臨時職員又は非常勤職員	5.3



■I まず、あなたご自身のことについてお伺いします。

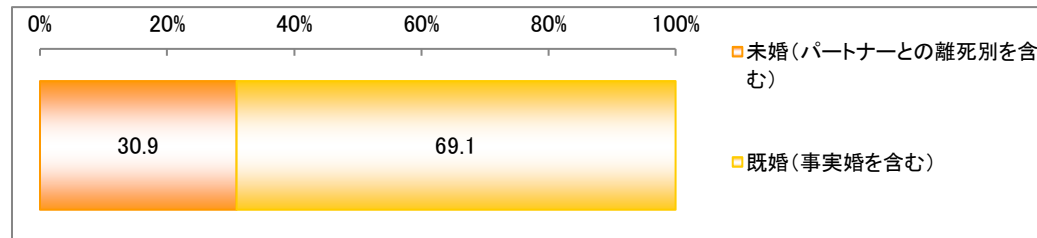
Q1.現在の役職を教えてください。

	%
全体	1500
1 係員・担当	6.0
2 係長相当職	10.3
3 本省課長補佐相当職	5.3
4 本省課室長相当職	2.0
5 指定職相当職	1.2
6 係員・担当	21.4
7 本庁係長相当職	9.2
8 本庁課長補佐相当職	4.9
9 本庁課長相当職	5.4
10 本庁部局長・次長相当職	1.7
11 当てはまるものがない	32.5



Q2.婚姻状況を教えてください。

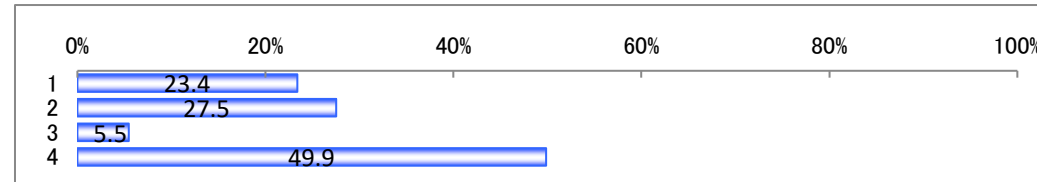
	%
全体	1500
1 未婚(パートナーとの離死別を含む)	30.9
2 既婚(事実婚を含む)	69.1



■単純集計表(%表)

Q3.現在同居しているご家族について教えてください。(いくつでも)

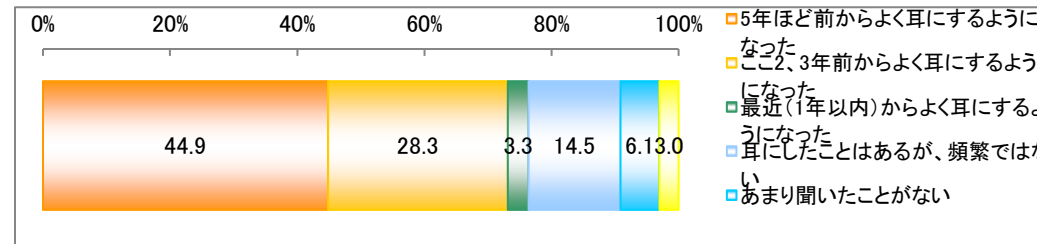
	MA	%
全体		1500
1 小学生以下の子どもがいる		23.4
2 中学生以上の子どもがいる		27.5
3 介護が必要な家族がいる		5.5
4 当てはまるものはない		49.9



■II 女性活躍に関する考え方についてお伺いします。

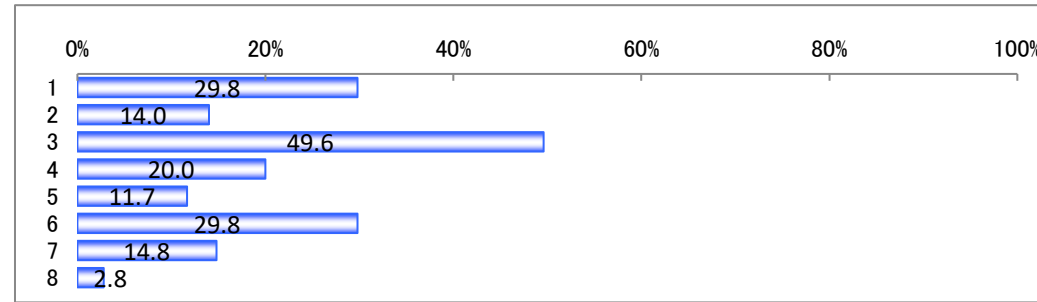
Q4.「女性活躍」という言葉について、当てはまるものを一つだけ選んでください。

	SA	%
全体		1500
1 5年ほど前からよく耳にするようになった		44.9
2 ここ2、3年前からよく耳にするようになった		28.3
3 最近(1年以内)からよく耳にするようになった		3.3
4 耳にしたことはあるが、頻繁ではない		14.5
5 あまり聞いたことがない		6.1
6 全く聞いたことがない		3.0



Q5.「女性活躍」と聞いて、どのような印象をお持ちですか。(いくつでも)

	MA	%
全体		1500
1 女性に対する期待を感じる		29.8
2 職場の雰囲気が良くなるように感じる		14.0
3 もっと女性が働きやすい社会になるよう取組を進めるべきだと思う		49.6
4 女性は十分活躍していると思う		20.0
5 専業主婦を否定しているように感じる		11.7
6 女性を特別扱いしていると感じる		29.8
7 女性に対してプレッシャーがかかるように感じる		14.8
8 その他:		2.8



Q6. ■女性の方にお伺いします ■仕事と育児の両立とキャリアについて、次のうち、あなた自身の考えに近い方を選んでください。

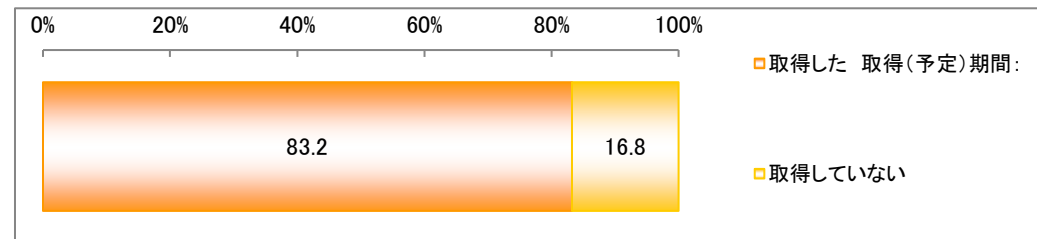
	SA
1. 育児休業や短時間勤務はできるだけ短い期間にして、早くフルタイム勤務に戻るほうがよい-育児休業や短時間勤務の期間は(制度の範囲内で)できるだけ長く取るほうがよい(n=500)	



	n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い
1. 育児休業や短時間勤務はできるだけ短い期間にして、早くフルタイム勤務に戻るほうがよい-育児休業や短時間勤務の期間は(制度の範囲内で)できるだけ長く取るほうがよい(n=500)	500	8.6	26.6	39.0	25.8

Q7-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様について)

	SA	%
全体		161
1 取得した 取得(予定)期間:		83.2
2 取得していない		16.8



■単純集計表(%表)

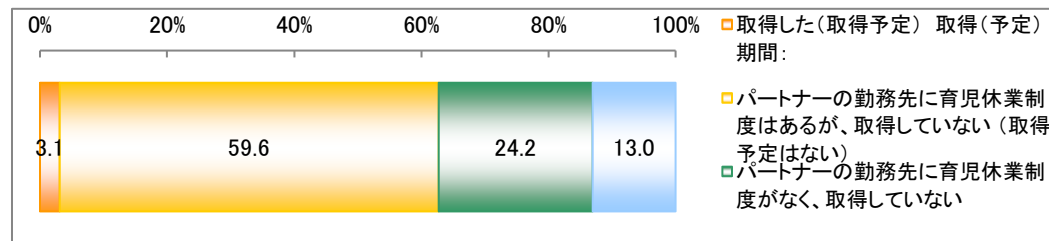
Q7-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児休業を取得、または取得予定ですか。取得(取得予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお子様について

	値
全体	134
平均値	16.91
最小値	1.00
最大値	84.00

Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。

SA

	%
全体	161
1 取得した(取得予定) 取得(予定)期間:	3.1
2 パートナーの勤務先に育児休業制度はあるが、取得していない(取得予定はない)	59.6
3 パートナーの勤務先に育児休業制度がなく、取得していない	24.2
4 パートナーの勤務先に育児休業制度があるかどうかわからない	13.0



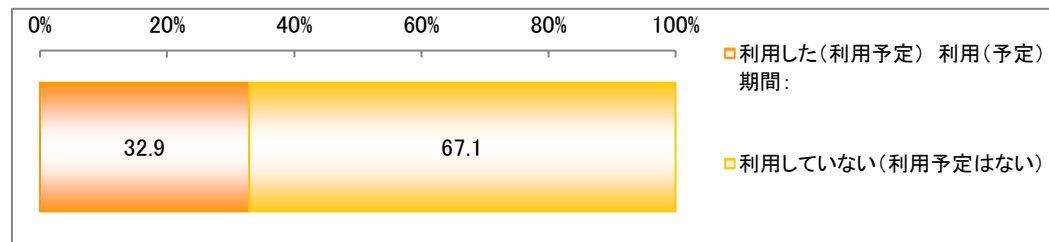
Q7-2.(2)パートナーの方について、教えてください。/1.取得した(取得予定) 取得(予定)期間: __ヵ月

	値
全体	5
平均値	1.40
最小値	1.00
最大値	2.00

Q8-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお

SA

	%
全体	161
1 利用した(利用予定) 利用(予定)期間:	32.9
2 利用していない(利用予定はない)	67.1



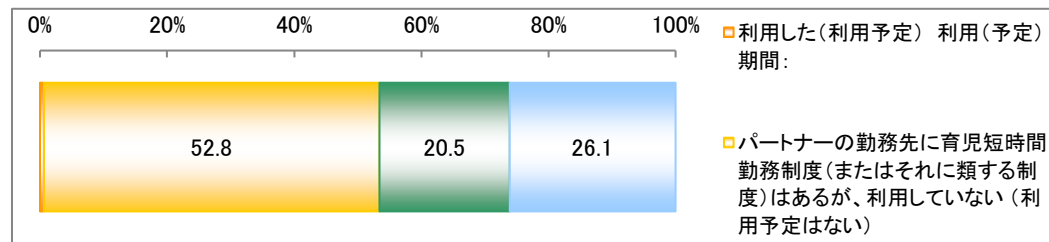
Q8-1. ■お子様がいらっしゃる既婚の女性の方にお伺いします ■あなた及びパートナーの方は、育児短時間勤務制度を利用、または利用予定ですか。利用(利用予定)の場合、その期間(予定含む)も教えてください。(お子様が複数いらっしゃる方は、一番下のお

	値
全体	53
平均値	20.89
最小値	3.00
最大値	72.00

Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。

SA

	%
全体	161
1 利用した(利用予定) 利用(予定)期間:	0.6
2 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)はあるが、利用していない(利用予定はない)	52.8
3 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)はなく、利用していない	20.5
4 パートナーの勤務先に育児短時間勤務制度(またはそれに類する制度)があるかどうかわからない	26.1



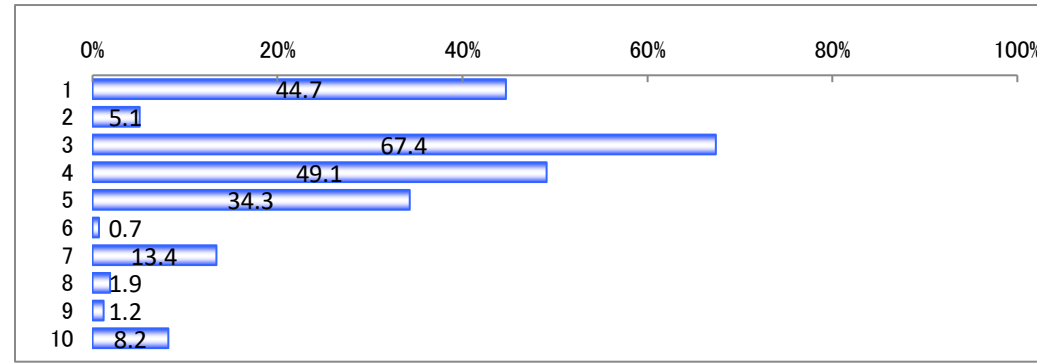
Q8-2.(2)パートナーの方について、教えてください。/1.利用した(利用予定) 利用(予定)期間: __ヵ月

	値
全体	1
平均値	1.00
最小値	1.00
最大値	1.00

■単純集計表(%表)

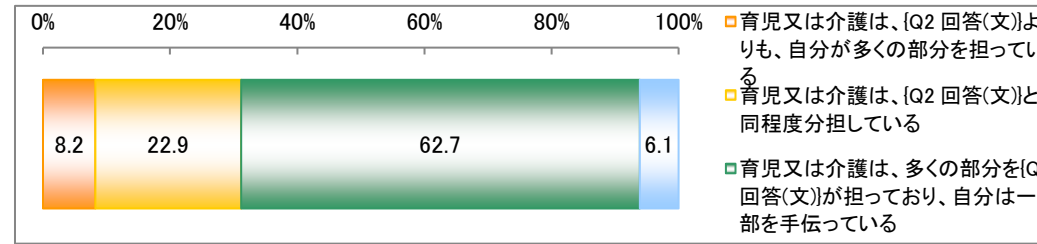
Q9. ■男性の方にお伺いします ■仕事と育児のことについて、次のうち、あなたの考えに当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	%
全体	1000
1 仕事は、短い時間で成果を出すことが重要だ	44.7
2 仕事は、時間をかけただけ良いものになる	5.1
3 ワーク・ライフ・バランスは良い仕事をするためにも必要だ	67.4
4 男性も積極的に育児をするべきだ	49.1
5 パートナーもやりがいを持って働く家庭に魅力を感じる	34.3
6 男性は育児に参画する必要はない	0.7
7 職場等で、子育て中の男性のネットワークがあるとよい	13.4
8 父親が保育園や幼稚園に子どもを送迎することに違和感がある	1.9
9 男性は育児をパートナーに任せて仕事に専念すべきだ	1.2
10 この中に当てはまるものはない	8.2



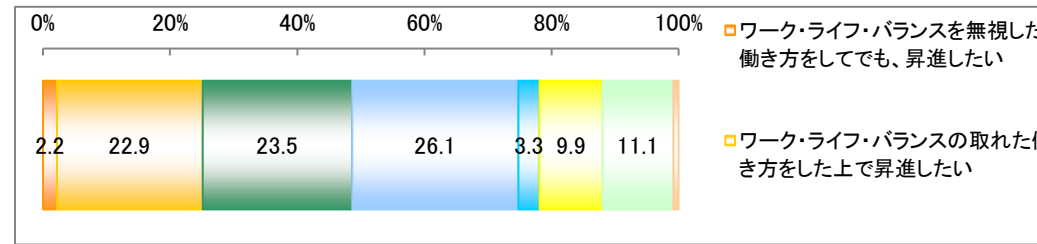
Q10. ■小学生以下のお子様、又は介護が必要な御家族がいらっしゃる男性の方にお伺いします ■以下の中から、あなたの状況に一番近いもの一つだけ選択してください。

	%
全体	279
1 育児又は介護は、[Q2 回答(文)]よりも、自分が多くの部分を担っている	8.2
2 育児又は介護は、[Q2 回答(文)]と同程度分担している	22.9
3 育児又は介護は、多くの部分を[Q2 回答(文)]が担っており、自分は一部	62.7
4 育児又は介護には一切参画していない	6.1



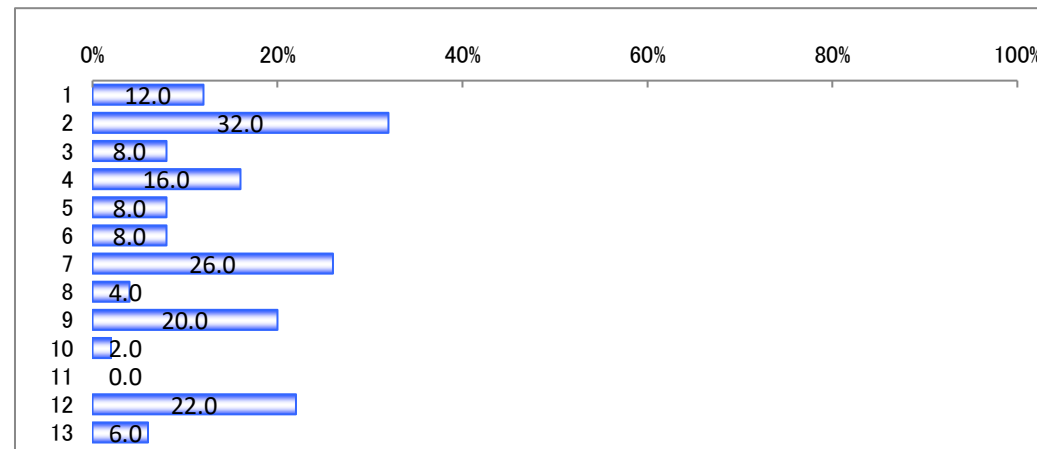
Q11. あなた自身のキャリアについて、あなたのお考えにもっとも当てはまるものを選択してください。

	%
全体	1500
1 ワーク・ライフ・バランスを無視した働き方をしてでも、昇進したい	2.2
2 ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方をした上で昇進したい	22.9
3 「昇進したい・したくない」どちらともいえないが、ワーク・ライフ・バランスを重視したい	23.5
4 仕事上与えられた役割をきちんと果たしていった結果として、昇進の機会を得たい	26.1
5 昇進したいが、あきらめている	3.3
6 能力と責任が求められるため、昇進したくない	9.9
7 家庭生活を重視したいため、昇進したくない	11.1
8 その他:	0.8



Q12. ■前問で「昇進したいが、あきらめている」と答えた方にお伺いします ■昇進をあきらめるに至った要因は何ですか。(いくつでも)

	%
全体	50
1 ワーク・ライフ・バランスに対する支援体制が十分に整備されていない職	12.0
2 自分の仕事に対する評価が低いと感じる	32.0
3 育児・介護等への配慮・理解のなく両立が難しい職場環境・風土(子ども	8.0
4 長時間の超過勤務を前提とした業務量、働き方、評価	16.0
5 職場に、自分のキャリアの参考となる管理職(性別問わず)がいない	8.0
6 育児中、介護中などの家庭生活の事情によって、重要度の高い仕事を	8.0
7 今の職場に将来性を感じない	26.0
8 職場に、育児や介護等と仕事を両立させている管理職(性別問わず)が	4.0
9 自身または家族の健康問題	20.0
10 育児や介護をパートナーと分担することができず、自分が家庭のことを	2.0
11 パートナーや家族が働くことに反対している	0.0
12 昇進後の業務を担うことができるか自信がない	22.0
13 その他:	6.0

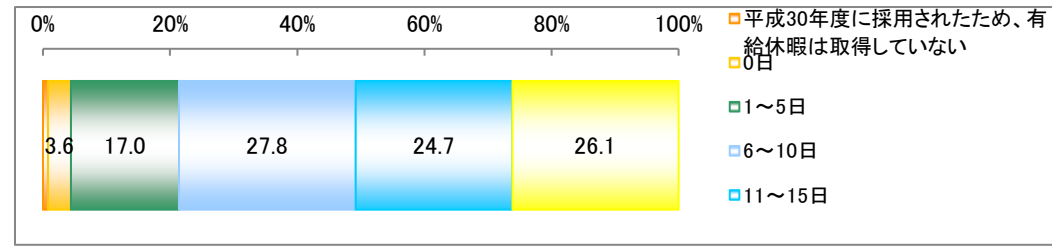


■単純集計表(%表)

Q13.平成29年度に取得した年次有給休暇の日数をお答えください。

SA

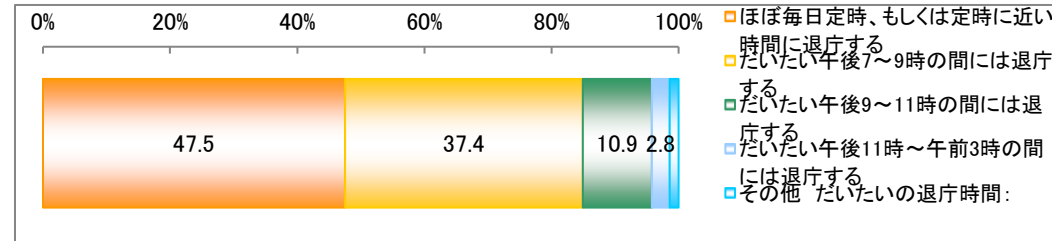
	%
全体	1500
1 平成30年度に採用されたため、有給休暇は取得していない	0.8
2 0日	3.6
3 1～5日	17.0
4 6～10日	27.8
5 11～15日	24.7
6 16日以上	26.1



Q14.あなたの繁忙期(最も忙しい時期)における退庁状況にもっとも当てはまるものを一つ選んでください。

SA

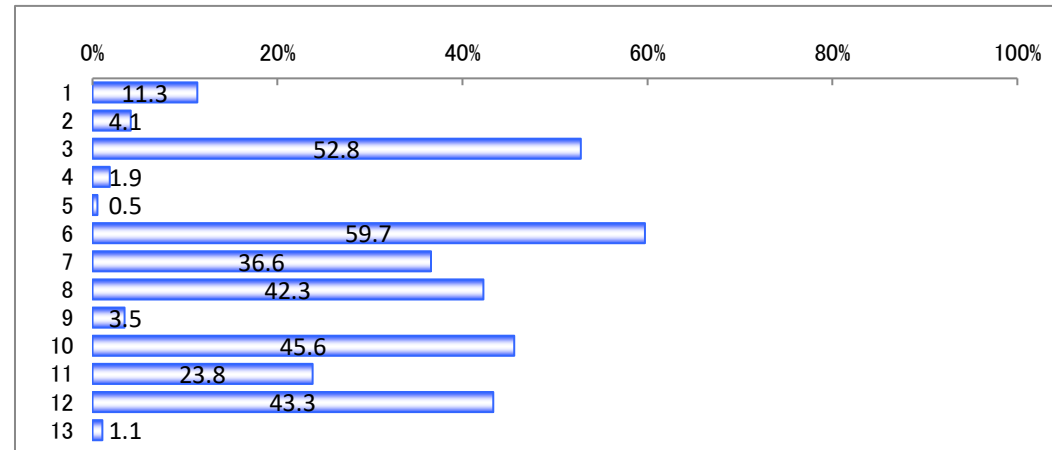
	%
全体	1500
1 ほぼ毎日定時、もしくは定時に近い時間に退庁する	47.5
2 だいたい午後7～9時の間には退庁する	37.4
3 だいたい午後9～11時の間には退庁する	10.9
4 だいたい午後11時～午前3時の間には退庁する	2.8
5 その他 だいたいの退庁時間:	1.4



Q15.残業、長時間労働に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

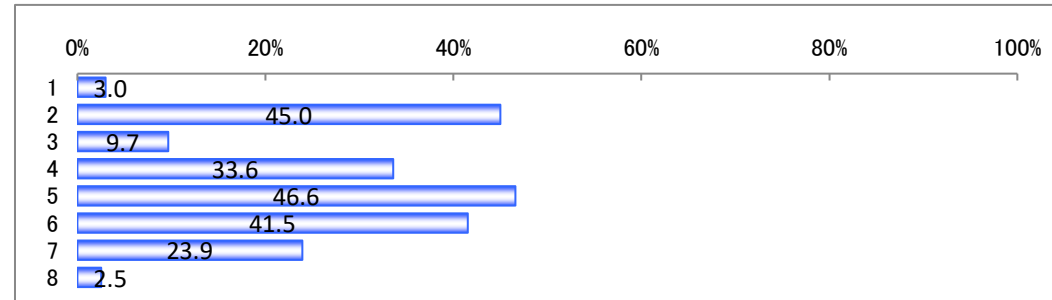
	%
全体	1500
1 より良い仕事のためには、残業する必要がある	11.3
2 残業をしても仕事を仕上げることで、人事評価が高くなると思う	4.1
3 業務が終わらない以上、残業する必要がある	52.8
4 残業しなければならない仕事を任されているというモチベーションアップにつながる	1.9
5 長時間労働をしていることは、他人に自慢できることだ	0.5
6 残業する日があってもある程度は仕方がないが、常に残業を前提とした業務は問題である	59.7
7 常に残業している人としていない人の偏りがあることは問題である	36.6
8 長時間労働は、職場・職員にとってマイナスの影響の方が大きい	42.3
9 どのような理由があっても、残業は必要ない	3.5
10 長時間労働が常態化している職場では働きたくない	45.6
11 残業しなければならないというだけでモチベーションが下がる	23.8
12 長時間労働をしたことを自慢している人を見ると違和感がある	43.3
13 その他:	1.1



Q16.超過勤務時間の縮減に対するあなたの考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

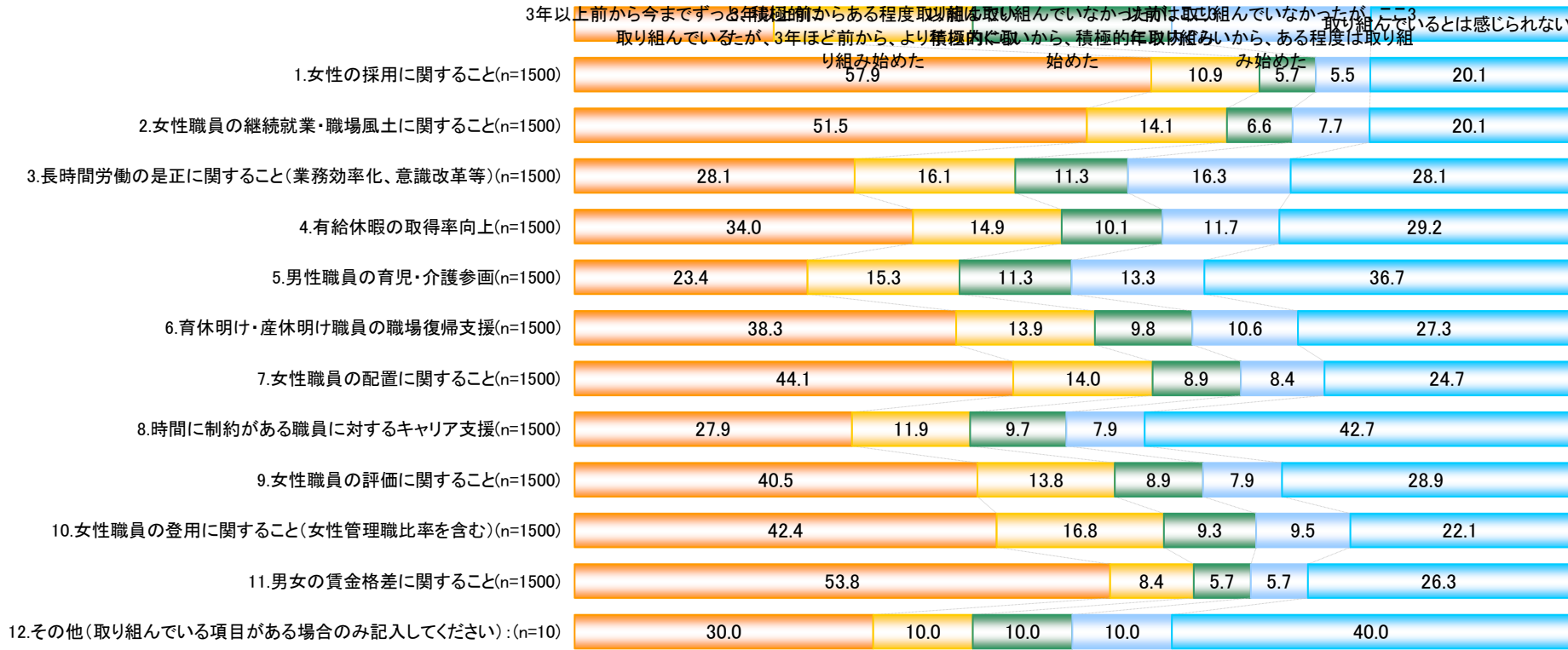
	%
全体	1500
1 超過勤務は必要なものであり、縮減する必要はない	3.0
2 超過勤務はなるべく減らすべきだが、強制的に縮減する必要はない	45.0
3 超過勤務は必要なく、強制的にでも0にするべきだ	9.7
4 雇用者側が、インターバル制度やフレックス制度等を整備して、職員の働きやすさを確保するべきだ	33.6
5 管理職が、超過勤務時間が最小限になるようマネジメント(担当間の業務配分)	46.6
6 個人が、働き方を見直し、生産性の向上に向けた工夫をすることが重要だ	41.5
7 縮減の取組として、ある程度の強制力を持って帰宅を促すことが必要だ	23.9
8 その他:	2.5



■単純集計表(%表)

■Ⅲ 女性活躍に関する職場の状況等についてお伺いします。

Q17.あなたの勤務先は、以下の項目について積極的に取り組んでいると思いますか。それぞれの項目について、取り組みの状況をお答えください。※その他に取り組んでいることがある場合のみ「12.その他」に内容を記入してください。※この設問は、それぞれ横SA

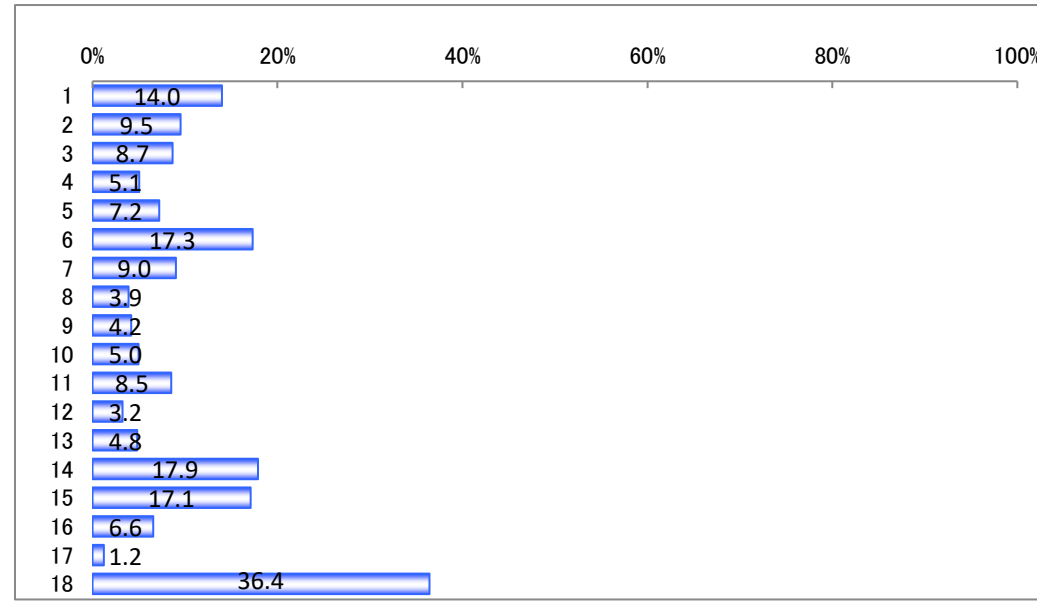


	n	3年以上前から今までもずっと積極的に取り組んでいる	3年以上前から今までも積極的に取り組んでいないが、ここ3年取り組んでいる	3年以上前から今までも積極的に取り組んでいない	3年以上前から今までも積極的に取り組んでいない	取り組んでいるとは感じられない
1.女性の採用に関すること	1500	57.9	10.9	5.7	5.7	20.1
2.女性職員の継続就業・職場風土に関すること	1500	51.5	14.1	6.6	7.7	20.1
3.長時間労働の是正に関すること(業務効率化、意識改革等)	1500	28.1	16.1	11.3	16.3	28.1
4.有給休暇の取得率向上	1500	34.0	14.9	10.1	11.7	29.2
5.男性職員の育児・介護参画	1500	23.4	15.3	11.3	13.3	36.7
6.育休明け・産休明け職員の職場復帰支援	1500	38.3	13.9	9.8	10.6	27.3
7.女性職員の配置に関すること	1500	44.1	14.0	8.9	8.4	24.7
8.時間に制約がある職員に対するキャリア支援	1500	27.9	11.9	9.7	7.9	42.7
9.女性職員の評価に関すること	1500	40.5	13.8	8.9	7.9	28.9
10.女性職員の登用に関すること(女性管理職比率を含む)	1500	42.4	16.8	9.3	9.5	22.1
11.男女の賃金格差に関すること	1500	53.8	8.4	5.7	5.7	26.3
12.その他(取り組んでいる項目がある場合のみ記入してください) :	10	30.0	10.0	10.0	10.0	40.0

■単純集計表(%表)

Q18. ■前問で取り組んでいる（選択肢1～4）との回答があった方にお伺いします ■勤務先の取組によって、自身のお考え・行動に変化はありましたか。以下の中から当てはまるものを選んでください。（いくつでも）
MA

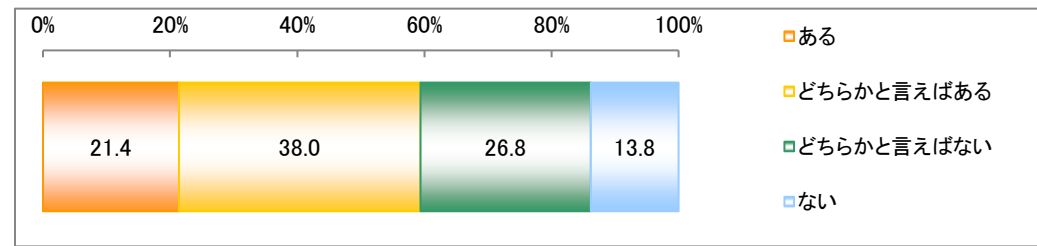
	%
全体	1386
1 同じ勤務先で就業継続したいという意識が強まった	14.0
2 仕事にやりがいを感じるようになった	9.5
3 モチベーションが向上した	8.7
4 新しいことにチャレンジしてみようと思うようになった	5.1
5 仕事に対するプレッシャーを感じるようになった	7.2
6 家庭生活との両立をポジティブに考えるようになった	17.3
7 時間制約のある職員との間の不公平さをより感じた	9.0
8 職員同士がコミュニケーションをとる時間が増えた	3.9
9 パートナーの働き方に対する理解が深まった	4.2
10 育児、介護、家事をパートナーと分担して行うようになった	5.0
11 仕事以外の時間が充実したことで仕事にも良い影響があった	8.5
12 自分の持っている能力を十分に発揮できるようになった	3.2
13 パートナーを労わる意識が芽生えた	4.8
14 仕事の進め方を効率的にする意識・行動につながった	17.9
15 働きやすい職場環境の構築を意識するようになった	17.1
16 気楽に働けなくなった	6.6
17 その他:	1.2
18 変化はない	36.4



Q19. あなたの勤務先では、配属に関する男女の偏り（例えば、特定の部署に男性又は女性が偏っている、だいたい男性のみ又は女性のみが配置されるポストがある、など）があると思いますか。以下の中から当てはまるものを選択してください。

SA

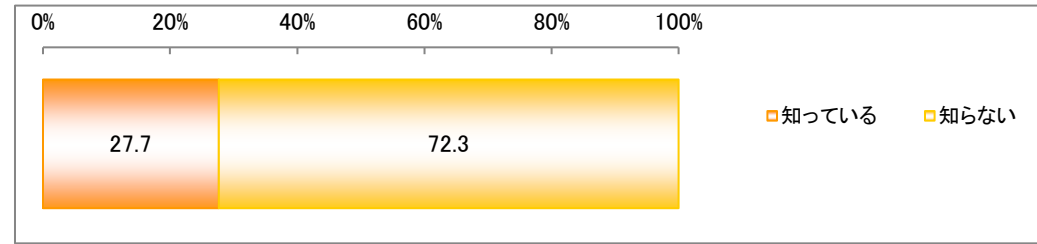
	%
全体	1500
1 ある	21.4
2 どちらかと言えばある	38.0
3 どちらかと言えばない	26.8
4 ない	13.8



Q20. あなたの勤務先の「女性活躍推進法に基づく行動計画」の内容を知っていますか。

SA

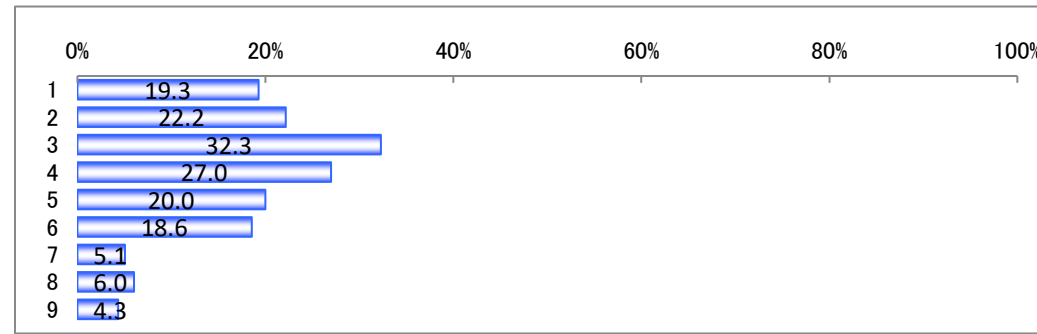
	%
全体	1500
1 知っている	27.7
2 知らない	72.3



Q21. ■前問で「知っている」と答えた方にお伺いします ■行動計画の内容はどのように知りましたか。（いくつでも）

MA

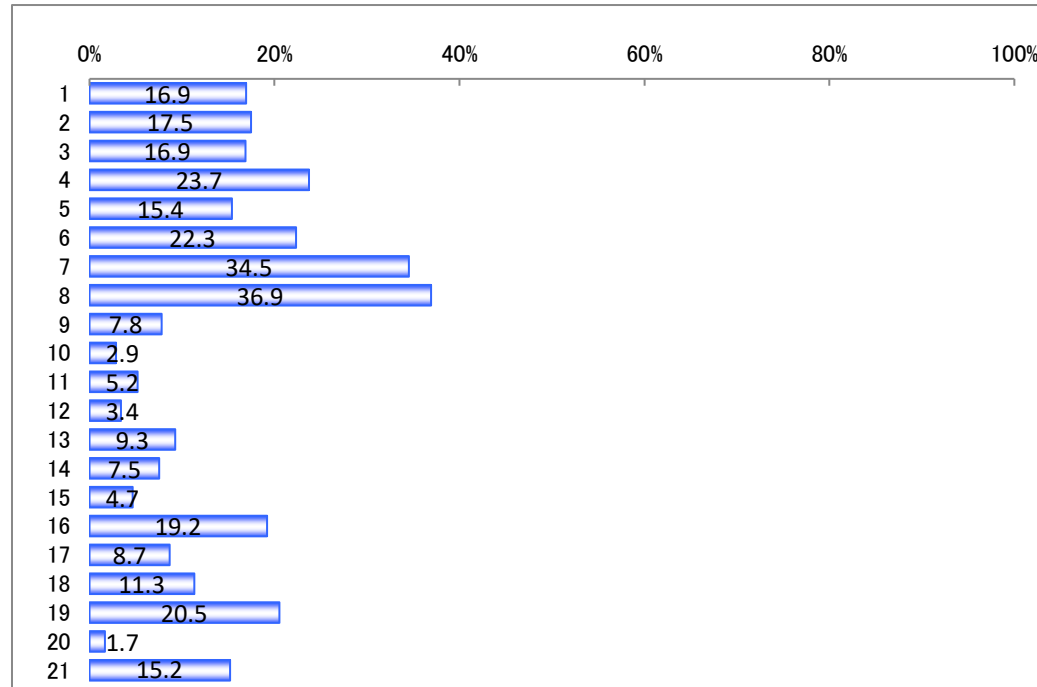
	%
全体	415
1 行動計画の策定について、人事担当からのメールを受け取った	19.3
2 行動計画に基づく取組について、人事担当からのメールを受け取った	22.2
3 e-ラーニング、研修等で知った	32.3
4 職場の掲示板に掲載されていたものを閲覧した	27.0
5 職場のホームページに掲載されていたものを閲覧した	20.0
6 広報誌に掲載されていたものを閲覧した	18.6
7 行動計画の改善点等についての意見募集で知った	5.1
8 人事担当が実施したアンケート調査により知った	6.0
9 その他:	4.3



■単純集計表(%表)

Q22.あなたの勤務先における女性活躍の取組を一層推進するため、勤務先が取り組むべきと考えることは何ですか。(いくつでも)

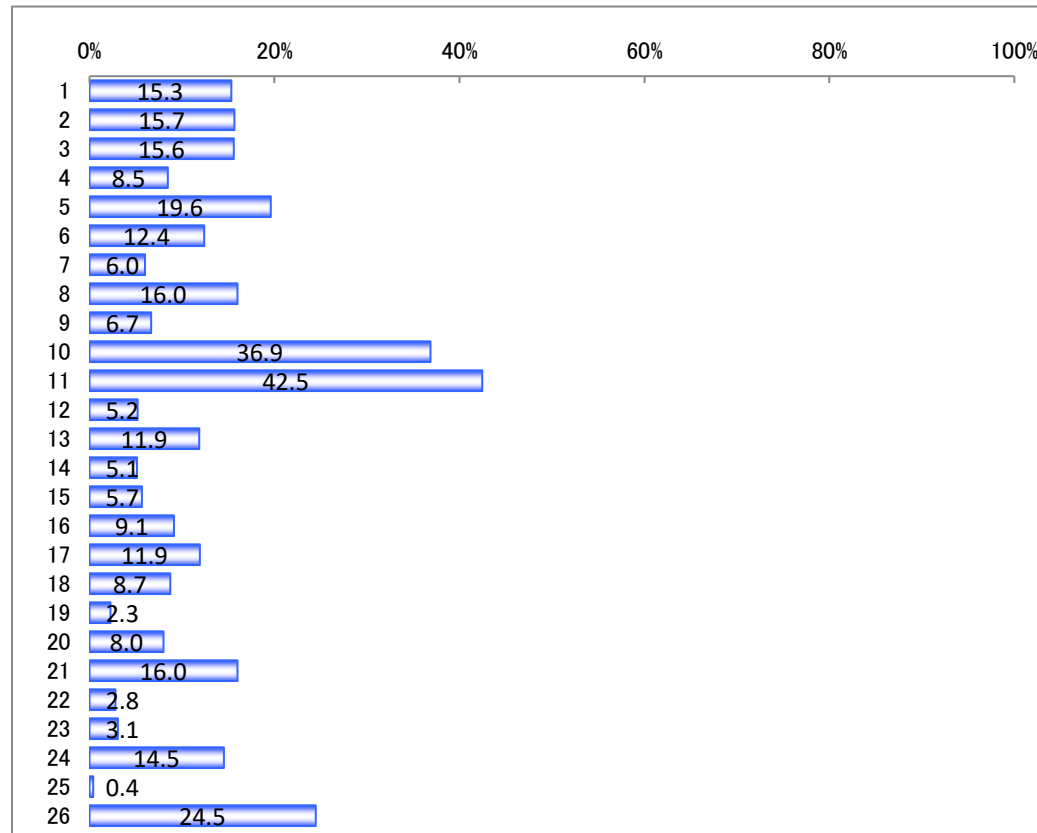
	%
全体	1500
1 組織トップから職員に対する、女性活躍に対する考え方・方針の説明	16.9
2 管理職から職員に対する、女性活躍に対する考え方や取組内容の説明	17.5
3 女性活躍の必要性について職員の理解を深めること(外部有識者から)	16.9
4 女性職員の仕事に対する意欲の向上	23.7
5 女性職員の昇進意欲を上げること	15.4
6 男性職員の家事・育児への参加意欲を上げること	22.3
7 超過勤務時間の縮減	34.5
8 性別にとらわれない職務の機会付与	36.9
9 職場の女性活躍状況(女性採用・登用率、超過勤務の状況等)を「見え	7.8
10 他の職場と自身の職場の女性活躍状況(女性採用・登用率、超過勤務	2.9
11 女性活躍を推進するための部署の設置	5.2
12 女性活躍を担当する担当者の熱意(実行力)の向上を図ること	3.4
13 ある程度の強制力を持った取組	9.3
14 第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	7.5
15 効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム(マニユア	4.7
16 柔軟な働き方に関する制度(テレワーク、フレックスタイム制度等)の更な	19.2
17 トップダウンで行う大幅な業務効率化	8.7
18 職場のペーパーレス化	11.3
19 職員一人一人の生産性を高める意識の向上を図ること	20.5
20 その他:	1.7
21 特になし	15.2



■IV 採用のことについてお伺いします。

Q23.求職活動中、就職先を決める上で判断基準になると思う項目を選択してください。(いくつでも)

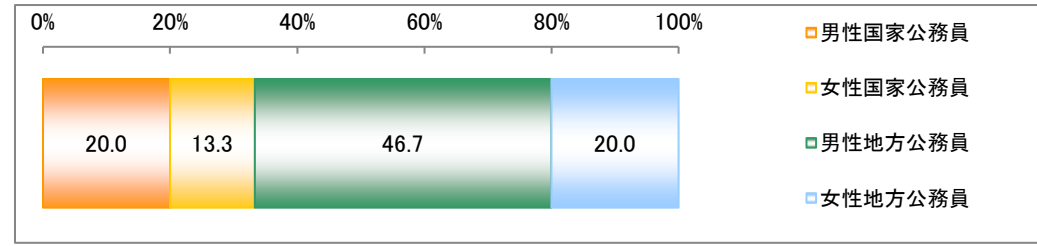
	%
全体	1500
1 女性職員の採用割合	15.3
2 継続勤務年数(又は離職率)の男女差	15.7
3 管理職の女性割合	15.6
4 各役職段階の職員の女性割合	8.5
5 男女別育児休業取得率・平均取得期間	19.6
6 男性の配偶者出産休暇等取得率・平均取得期間	12.4
7 採用試験受験者の総数に占める女性の割合	6.0
8 職員に占める女性職員の割合	16.0
9 約10年度前に採用した職員の男女別継続任用割合	6.7
10 超過勤務状況	36.9
11 年次休暇等の取得率	42.5
12 中途採用の男女別の実績	5.2
13 男女別の配置(配属)の状況	11.9
14 将来の人材育成を目的とした教育訓練の男女別の受講状況	5.1
15 管理的地位にある職員及び男女の職員の配置、育成、評価、昇任及び	5.7
16 職業生活と家庭生活との両立を支援する制度の男女利用実績(育児休	9.1
17 在宅勤務、テレワーク、フレックスタイム制度等の柔軟な働き方に資する	11.9
18 管理的地位にある職員の超過勤務状況	8.7
19 各役職段階から一つ上の役職段階に昇任した職員の男女別の割合	2.3
20 人事評価の結果における男女の差異	8.0
21 セクハラ相談窓口など、ハラスメント対策の内容	16.0
22 中途採用者を管理的地位にある職員に任用した男女別の実績	2.8
23 臨時・非常勤職員の研修の男女別の受講の状況	3.1
24 男女の給与の差異	14.5
25 その他:	0.4
26 特になし	24.5



■単純集計表(%表)

割付
SA

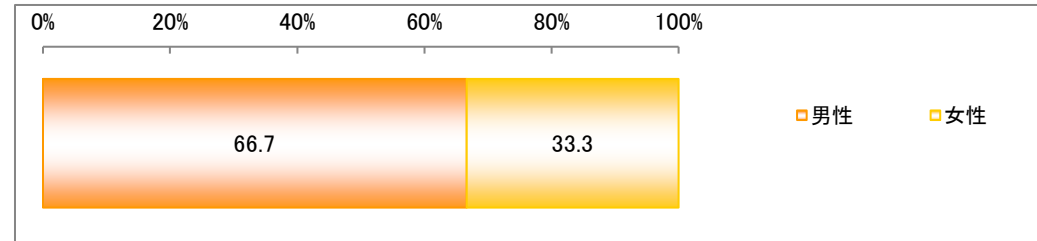
	%
全体	1500
1 男性国家公務員	20.0
2 女性国家公務員	13.3
3 男性地方公務員	46.7
4 女性地方公務員	20.0



性別

SA

	%
全体	1500
1 男性	66.7
2 女性	33.3



年齢

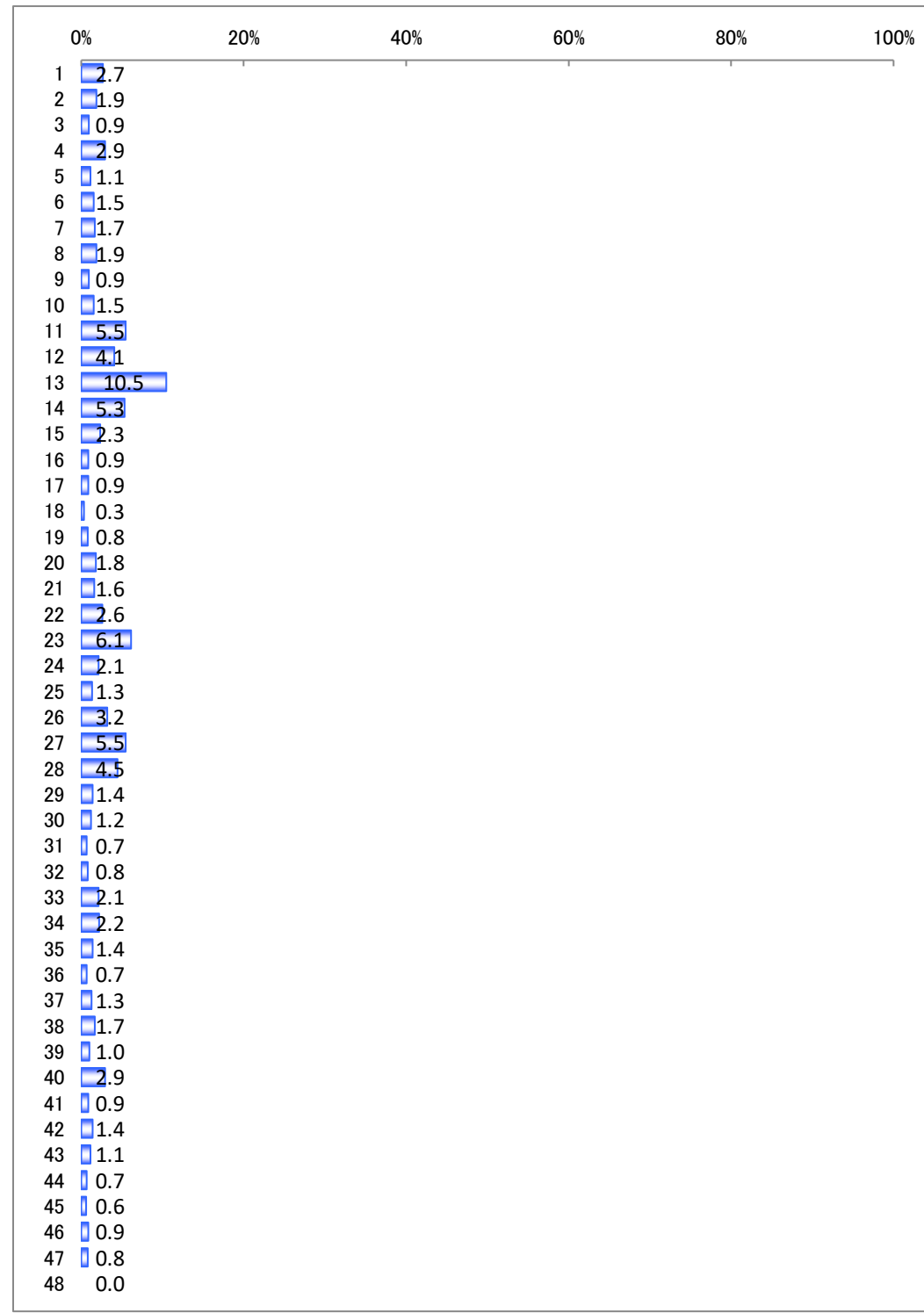
歳

	値
全体	1500
平均値	45.59
最小値	22.00
最大値	60.00

■単純集計表(%表)

都道府県
SA

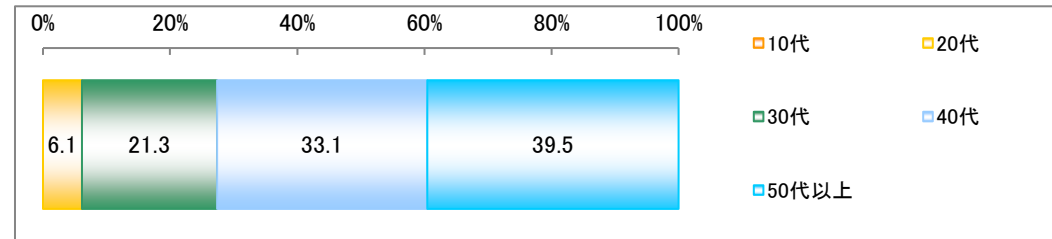
	%
全体	1500
1 北海道	2.7
2 青森県	1.9
3 岩手県	0.9
4 宮城県	2.9
5 秋田県	1.1
6 山形県	1.5
7 福島県	1.7
8 茨城県	1.9
9 栃木県	0.9
10 群馬県	1.5
11 埼玉県	5.5
12 千葉県	4.1
13 東京都	10.5
14 神奈川県	5.3
15 新潟県	2.3
16 富山県	0.9
17 石川県	0.9
18 福井県	0.3
19 山梨県	0.8
20 長野県	1.8
21 岐阜県	1.6
22 静岡県	2.6
23 愛知県	6.1
24 三重県	2.1
25 滋賀県	1.3
26 京都府	3.2
27 大阪府	5.5
28 兵庫県	4.5
29 奈良県	1.4
30 和歌山県	1.2
31 鳥取県	0.7
32 島根県	0.8
33 岡山県	2.1
34 広島県	2.2
35 山口県	1.4
36 徳島県	0.7
37 香川県	1.3
38 愛媛県	1.7
39 高知県	1.0
40 福岡県	2.9
41 佐賀県	0.9
42 長崎県	1.4
43 熊本県	1.1
44 大分県	0.7
45 宮崎県	0.6
46 鹿児島県	0.9
47 沖縄県	0.8
48 海外	0.0



年代

SA

	%
全体	1500
1 10代	0.0
2 20代	6.1
3 30代	21.3
4 40代	33.1
5 50代以上	39.5



■単純集計表(%表)

性年代
SA

	%
全体	1500
1 男性 10代	0.0
2 男性 20代	1.2
3 男性 30代	8.9
4 男性 40代	23.7
5 男性 50代以上	32.9
6 女性 10代	0.0
7 女性 20代	4.9
8 女性 30代	12.3
9 女性 40代	9.4
10 女性 50代以上	6.7

